

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

商標について

NEC, PC-98シリーズは日本電気株式会社の商標です。

IBM, DOS/Vは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。

Macintosh, Power Bookは、Apple Computer Inc.の登録商標です。

Windowsは米国マイクロソフト社の商標です。

CompactFlash™ は米国SanDisk社の商標です。

このたびは、日本アビオニクスマルチプロジェクタをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

特 長

● とっても便利な1台3役。マルチメディア時代のプロジェクタ

1. 資料やカタログなどの印刷物をそのまま投写。いちいちOHP専用フィルムを作成することなく、印刷物を直接投写できます。
2. パソコン画面を投写
パソコンを利用したキメ細かなプレゼンテーションができます。
3. ビデオやDVDなどの映像もそのまま投写。視覚に訴えかけるプレゼンテーションが実現できます。

● だれでも、わかりやすい簡単操作

印刷物、パソコン画面、ビデオ映像の投写は、ボタンひとつで簡単に切り換えることができます。

● コストパフォーマンスに優れた省資源設計

OHP専用フィルムの作成が不要ですので、ムダな時間や経費を削減できます。

● 表現力豊かなカラー画像

分解能の高い200万画素単板カラーCCDカメラを内蔵。カラー原稿の微妙な中間色も、1677万色のフルカラーで忠実かつ鮮明に再現します。

● スクリーンサイズを変えずに拡大表示

カタログ、ワープロ原稿など、プレゼンテーション用に作成されていない小さな文字の資料を投写するときには、スクリーンサイズを変えずに原稿を拡大して、見やすく表示することができます。

● パソコン画面の圧縮、拡大表示機能搭載

解像度1024×768を超える画像は、文字が欠けることなく1024×768に圧縮して表示します。また、640×480などの画面は1024×768に拡大して表示できます。

● CF (CompactFlash™) カードスロット搭載

CFカードへOHP画像を保存したり、CFカード内のOHP画像を読み出して投写することができます。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示は、重要なことがらについて次の絵表示を使って注意を呼びかけています。製品を安全に正しくお使いいただくために、絵表示と注意内容を理解した上で、取扱説明書をお読みください。



この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この注意を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△の絵記号は、注意（警告含む）をうながす内容を示します。
図の中に、具体的な注意事項（左図では感電注意）が描かれています。



⊘の絵記号は、禁止されている行為を示します。



⊘の絵記号は、禁止されている行為を示します。
図の中に、具体的な禁止内容（左図では内部に手を触れない）が描かれています。



電源プラグを
コンセントから
抜く

●の絵記号は、強制や指示される行為を示します。
図の中に、具体的な指示内容（左図では電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

使用上のご注意（必ず守ってください）

警告



電源プラグを
コンセントから
抜く

■故障したときは

- ・本機から煙が出たり、変なおいや音がするときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障したまま使用を続けると危険です。お買い求めになった販売店に修理を依頼してください。



■内部に異物が入らないよう配慮を

- ・通風口などから内部に金属片や燃えやすいものが入らないように注意してください。
- ・水の入った容器を本機の上やそばに置かないでください。



電源プラグを
コンセントから
抜く

■内部に異物が入ったときは

- ・万一、水や金属片などの異物が本機の内部に入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- そのまま使用を続けると危険です。お買い求めになった販売店に点検を依頼してください。



■キャビネットを取り外さない

- ・キャビネットを取り外さないでください。内部には一部電圧の高いところがあり、触れると感電・故障の原因になります。



■電源コードはたいせつに

- ・電源コードの上に重いものを置かないでください。
- コードに傷がついて、断線・火災・感電などの原因になります。
- ・電源プラグを抜くときは、コードをひっぱらないでください。
- コードをひっぱるとコード内部で断線することがあり、火災・感電などの原因になります。必ずプラグ部分をつかんで抜いてください。



電源コードが
傷んだら販売
店へ交換依頼
を

- ・電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線等）販売店に交換（有料）をご依頼ください。
- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 **警告**



■ **レンズをのぞかない**

- ・本機の動作中は、レンズから中をのぞかないでください。
動作中はレンズを通して強い光が投写されており、目を痛める原因になります。



不安定な設置
禁止

■ **不安定なところには置かない**

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



交流100ボルト
以外使用禁止

■ **表示以外の電圧で使用しない**

- ・表示された電源電圧（交流 100ボルト）以外での電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



■ **電池を分解しない**

- ・アルカリ電池をショート、分解、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて目に入ったり、発熱、破裂により、火災や・けがや周囲を汚損する原因となります。
万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、目に入ったときはきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。
- ・マンガン電池をショート、分解、火に入れるなどしないでください。
発熱、液もれ破裂により、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



■ **ガラス面に衝撃を与えない**

- ・資料読み取り部のガラス面は、衝撃を与えないよう注意してください。
場合によっては、ガラスが割れてけがの原因となります。



■ **高温注意**

- ・点灯中や消灯直後は、通気孔やランプカバー及び周囲の表面が熱くなります。
長時間の接触は避けてください。



■レンズの前をふさがない

- ・ 本機の動作中は、レンズの前をふさがないでください。
動作中はレンズを通して強い光が投写されており、レンズ前を物や手でふさぐと、火災ややけどの原因となります。
- ・ 投写中は必ずレンズキャップを外してください。レンズキャップが変形する恐れがあります。

注意

■設置場所について



- ・ 次のような場所での使用はお避けください。
 - 強い振動が加わる場所
 - 油煙や湯気があたる場所
 - 直射日光があたる場所、熱器具などの近くで熱くなる場所 (35°C以上)
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 極端に寒い場所 (0°C以下)
 - 強力な磁界、電界を発生するものの近く
 - ぐらついたり、ゆれたりする不安定な場所

■通風口をふさがない



- ・ 布やものなどで通風口をふさがないでください。
本機のまわりにものを置くときは、通風口との間に10cm以上のすきまをあけてください。本体底面の通風口に紙や布などが吸い付かないようにしてください。内部の温度が上昇し、動作が異常になることがあります。

■強い衝撃を与えない



- ・ 持ち運びや取り扱い時に、強い衝撃を与えないでください。
故障の原因になります。

■お手入れについて



電源プラグを
コンセントから
抜く

- ・ 万一の事故を防ぐため、お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ・ レンズの表面は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパーを使ってお手入れしてください。
ティッシュペーパーやハンカチなどでふくと、レンズを傷つける原因になります。
- ・ キャビネット、操作パネル部分、ガラス面の汚れは、柔らかい布で軽くふいてください。特に汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませてからよく絞ってふきとり、乾いた布でからぶきしてください。



- ・ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品で本機をふかないでください。
表面が変質したり、塗装がはがれたりすることがあります。
化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

注意



■ガラス面を傷つけない

- ・資料読み取り部のガラス面を、固いものや鋭利なものでこすらないでください。ガラス面に傷がつくと投写映像が悪くなる場合があります。



プラス⊕とマイナス⊖の向きを間違えないように

■電池について

- ・電池をリモコンに入れる場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指定されていない電池は使用禁止

- ・機器で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより火災・けがの原因となることがあります。



- ・電池を、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。



内部の掃除を販売店で

■点検・清掃について

- ・1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。とくに、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。



電源プラグをコンセントから抜く

■長期間使わないとき

- ・長期間お使いにならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



■廃棄について

- ・本機の廃棄については各自治体の廃棄方法に従ってください。

注意

■輸送について

- ・本機を輸送する場合は必ず専用の梱包箱を使用してください。他の梱包箱を使用され破損等の事故がおきましても当社は責任を負いかねます。



- ・専用の梱包箱は繰り返し使用すると緩衝効果が減少し、本機の破損等の事故につながりますので繰り返し使用は2回までとしてください。

- ・新たに梱包箱が必要となった場合は販売店にご相談ください。
また、使用済の梱包箱の廃棄は各自治体の廃棄方法に従ってください。

■ランプの破裂について

- ・本プロジェクターでは、DCタイプの高圧水銀ランプを採用しておりますが、ごくまれに使用中に破裂することがあります。また、1500時間を越えると、破裂の確率が高くなるため、使用時間が1500時間で強制的にランプ電源が切れるようにしています。（66、67ページ参照）

●下記の事項にご注意願います！

- ・ランプが破裂すると、音がいたします。これは、高圧水銀ランプ内の圧力が非常に高いために生じます。
なお、ランプ破裂によるガラスなどの破片は、微細な物以外は製品内部に留まり外部に出ることはありません。
- ・ランプ内のガスが外に出て白い煙りのように見えますが、火災などの心配はありませんのでご安心ください。

●処 置

- ・ご使用中にランプが破裂した製品は、ランプ破片が内部に残っておりますので、ランプ交換せずに、ご購入時の販売店、代理店等にご返却くださるようお願い申し上げます。
ランプが破裂した場合、お客様によるランプ交換はおやめください。ランプ破片等によりけがの原因となります。
- ・ランプユニットの廃棄については一般家庭用の蛍光灯と同分類とし各自治体の廃棄方法に従ってください。

注意



■ランプ交換について

- ・ランプユニットの交換は、ランプを消灯し、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上経ってから行なってください。

動作中や停止直後にランプユニットを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプユニットの交換手順につきましては66ページ「ランプユニットの交換」をお読みください。



■エアフィルタの交換・掃除について

- ・エアフィルタを取りはずすときは、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

冷却ファン回転中に取りはずすと、けがの原因となることがあります。

エアフィルタの交換手順につきましては68ページ「エアフィルタの掃除」をお読みください。



■次のようなところは故障・事故の原因



- ・プロジェクタを水平に調節するときは本体が傾かないように脚（チルトフット）を調節してください。

傾いた状態で使用すると本体が転倒してけがの原因となることがあります。

調整手順につきましては21ページ「チルト（傾斜）の調整」をお読みください。

■次のようなことはしない



禁止

- ・プロジェクタの上に重いものを置かないでください。
- ・プロジェクタや台またはスタンドにのらないでください。またプロジェクタにつかまったり、ぶらさがったりしないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特に、小さなお子様のいるご家庭や場所ではご注意ください。
- ・キャスター付き台にプロジェクタを設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ・ランプのON,OFFは時間（1分以上）をおいてから行ってください。電源を入れた直後はランプに非常に高い電圧がかかります。そのためランプのON,OFFを短時間に繰り返すとランプの劣化および破損・プロジェクタの故障の原因となります。
- ・レンズキャップをしたままの映像投射は行わないでください。
- ・本体底面についているカバーはメンテナンス専用ですので、サービスマン以外の方は開けないでください。

注意

■持ち運びについて



- ・本体取手を持って移動する場合は、ガラス面を注意し持ち運んでください。
- ・資料カバーは十分に差し込まれていないと持ち運びの際、外れる場合があります。
- ・振り回したり、乱暴な取扱いは避けてください。



熱機具を近付けない

■電源コード・電源プラグについて

- ・電源コードを熱機具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手は危険

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



アース接続

- ・必ずアース接続を行ってください。アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



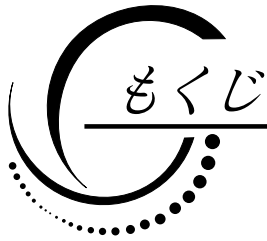
移動するときは接続線ははずしてから

- ・移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、盗難防止用ロックをはずしたことを確認の上、行なってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

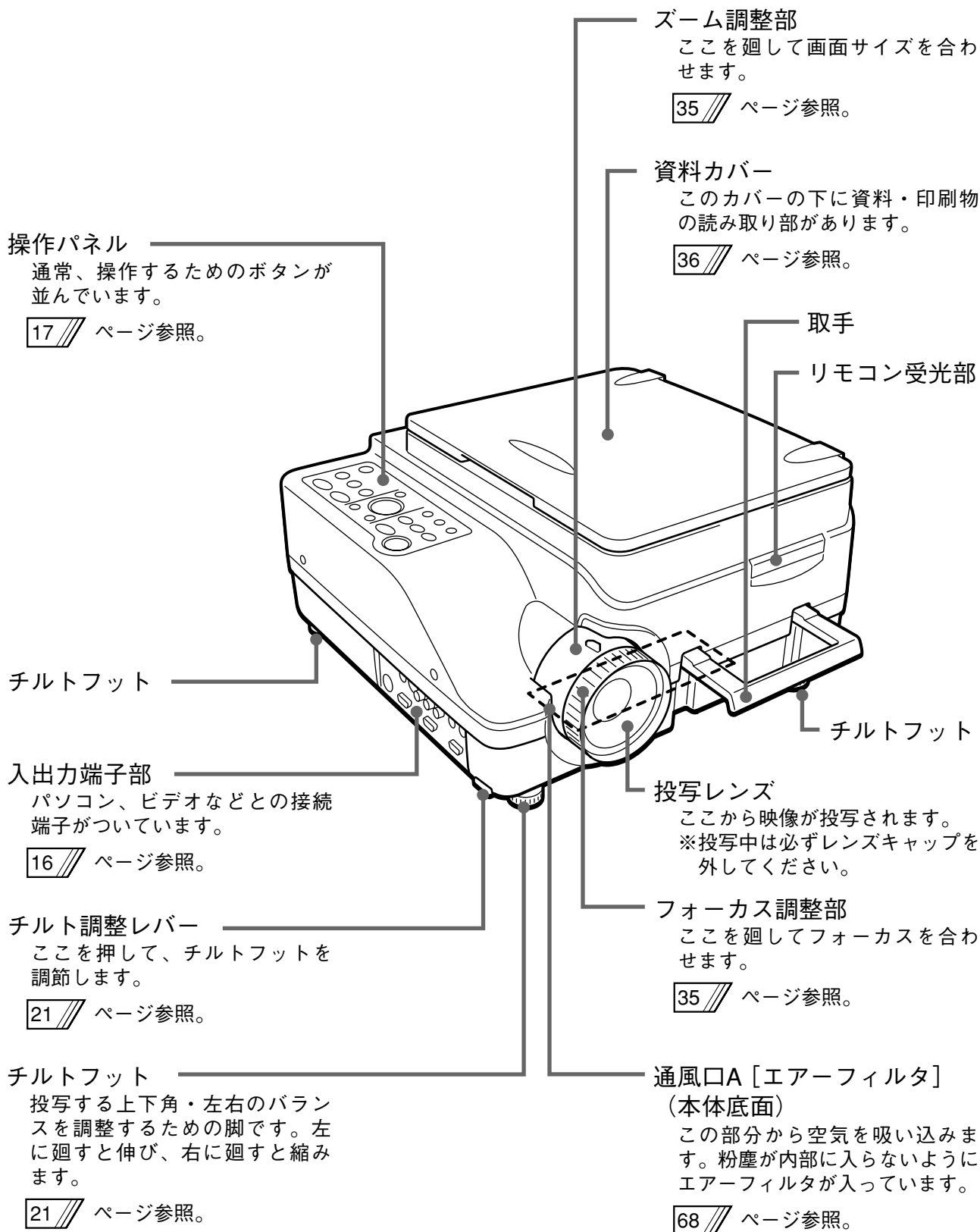
- ・長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

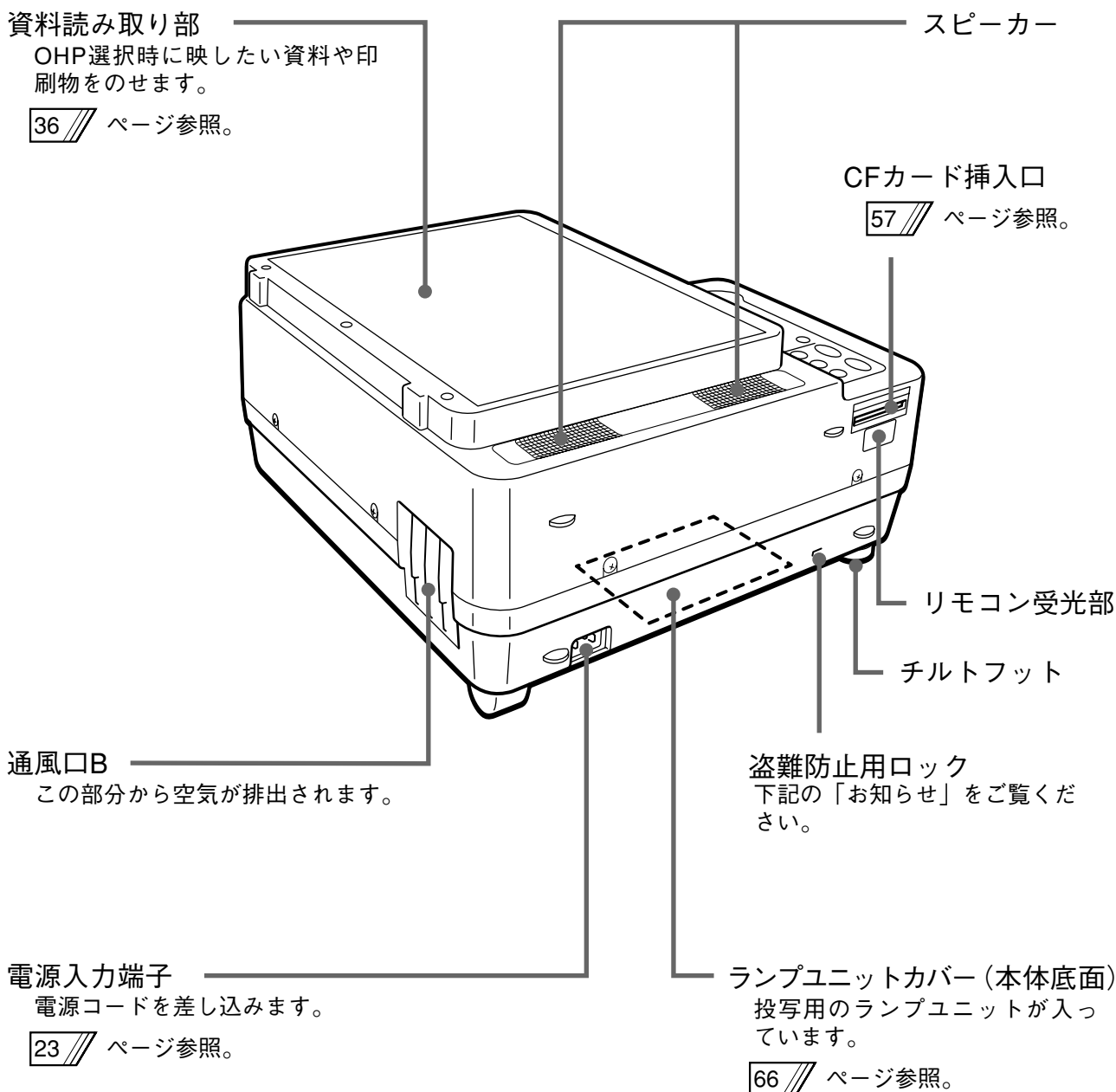


各部の名称と働き	14
プロジェクタ	14
入出力端子について	16
ボタンの説明	17
リモコン	19
リモコンの操作	20
電池の入れ方	20
設置のしかた	21
チルト（傾斜）の調整	21
投写距離と画面サイズ	22
標準的な設置	23
台形補正について	24
接続のしかた	25
パソコンとの接続	25
RGB映像出力について	27
パソコン画面の映像が投写されない場合は…	28
入力信号対応表（パソコン映像入力端子）	29
ビデオデッキ/DVDプレーヤとの接続	33
使いかた	34
準備	34
OHP選択時の基本操作	35
パソコン入力時・ビデオ入力時の基本操作	42
終了のしかた	46
調整のしかた	47
メニューの構成	47
メニュー項目の説明	48
基本操作のしかた	51
クイックメニューについて	55
メニュー項目の説明	55
OHP保存について	57
CFカードに画像を保存する	57
CFカードに保存した画像を表示する	58
CFカードに保存した画像を削除する	60
CFカードを初期化する	61
CFカードに保存した画像を消画時の壁紙として使用する…	62
保守	64
異常保護	64
ランプユニットの交換	66
エアフィルタの掃除	68
故障かな…と思ったら	69
保証と修理サービス	71
仕様	73

各部の名称と働き

プロジェクタ



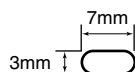


お知らせ

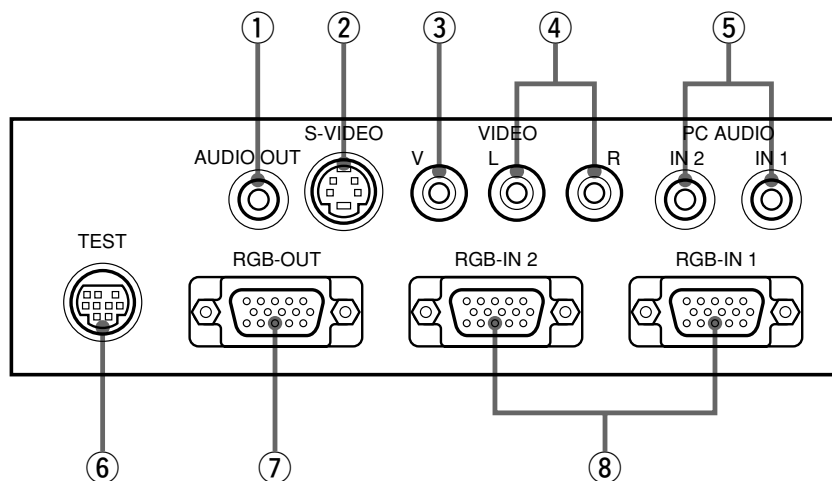
盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、スマートケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についての連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5-2 はごろもビル5F
 Tel:03-3537-1070 Fax:03-3537-1071

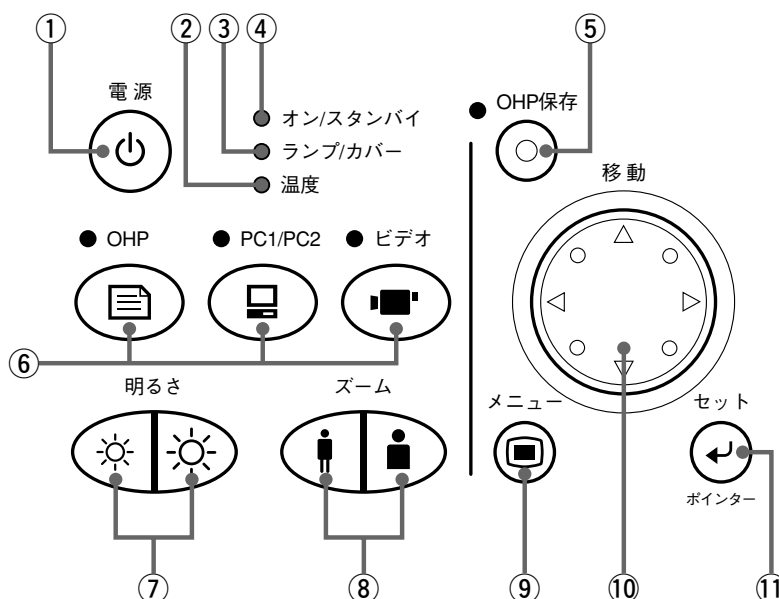


入出力端子について



①	音声出力端子	MP-700の音声出力端子です。入力選択している音声（パソコン/ビデオのいずれか）を出力します。スタンバイ時は、パソコン音声が出力されます。OHP選択時は、パソコン音声が出力されます。
②	Sビデオ映像入力端子	ビデオ（Y/C）用の入力端子です。
③	ビデオ映像入力端子	ビデオ（NTSC/PAL/SECAM）用の入力端子です。
④	ビデオ音声入力端子	ビデオ用の音声入力端子です。（ステレオ対応）
⑤	パソコン音声入力端子	パソコン用の音声入力端子です。パソコンは2台接続できます。（ステレオ対応）
⑥	テスト（保守）用端子	保守および社内テスト時に使用される専用端子です。他の接続には使用できません。
⑦	映像出力端子	OHP選択時は、OHP画像が出力されます。PC、ビデオ入力選択時は、入力されたパソコン映像がそのまま出力されます。スタンバイ時は、RGB-IN1に入力されたパソコン映像がそのまま出力されます。
⑧	パソコン映像入力端子	パソコンのアナログRGB用の入力端子です。パソコンは2台接続できます。

ボタンの説明

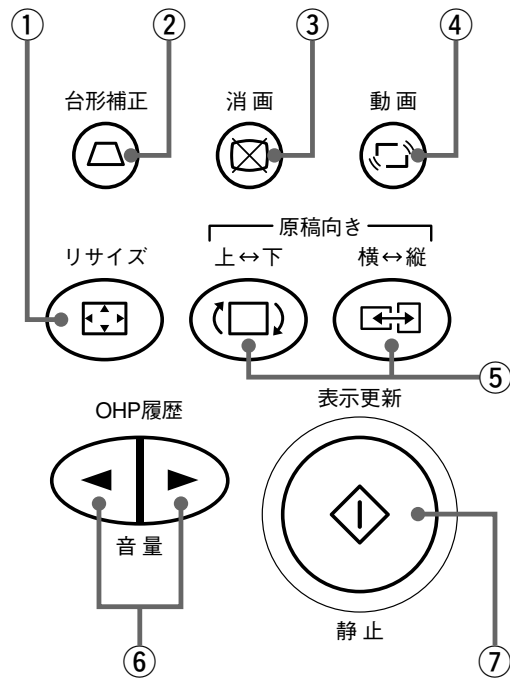


名称	説明	参照ページ
① 電源ボタン	・投写ランプの点灯または消灯を行います。 ・投写ランプが消灯しているとき、このボタンのみが有効です。	23、34、46
② 温度LED	・内部温度が上がりすぎたとき、10秒間の点滅後、点灯します。	64
③ ランプ/カバーLED	・ランプ点灯中、点灯します。 ・ランプ点灯動作時はおよそ6秒の点滅後、点灯します。 ・ランプ消灯時は60秒の点滅後、消灯します。 ・ランプ点灯失敗時、点滅します。(消灯時の点滅間隔は、他の点滅時よりも長くなります。) ・ランプ使用時間が1400時間を超えている場合は点滅、1500時間を超えている場合は点灯します。 ・エアフィルタまたはランプユニットカバーがはずれているときに点灯します。	34 46 66 66、68
④ オン/スタンバイLED	・スタンバイ時に赤色に点灯、ランプ点灯時に緑色に点灯します。	34、46
⑤ OHP保存ボタン	・OHP選択時、画像をCFカードに保存するときに押します。(CFカードアクセス中はLEDが点灯または点滅します。)	39、57
⑥ 入力選択ボタン (OHP、PC1/PC2、ビデオ)	・入力画面の切り替えを行います。 ・パソコン入力選択時は、パソコン入力端子からの映像を、ビデオ入力選択時はビデオ入力端子からの映像を投写します。また、OHP選択時は本体の読み取り部に置いた印刷物や資料の映像を投写します。パソコン入力選択時にPC1/PC2ボタンを押すと、パソコン入力1とパソコン入力2の切り替えを行います。	34
⑦ 明るさボタン	・明るさ調整を行います。☀️ ボタンを押すと映像が暗くなり、☀️ ボタンを押すと映像が明るくなります。	36、42
⑧ ズームボタン	・倍率調整を行います。📏 ボタンを押すと映像が縮小し、📏 ボタンを押すと映像が拡大します。	37、43
⑨ メニューボタン	・メニュー画面を表示します。	47
⑩ 移動ボタン	・メニュー画面で、項目の切り替えや調整値の設定、選択をします。 ・ズーム表示しているときは、ズーム位置を移動します。 ・ポインターを表示しているときは、ポインターを移動します。	51 37、43 39、43
⑪ セット/ポインターボタン	・メニュー画面で、各メニュー項目を確定するときに押します。 ・メニュー画面が表示されていないときは、ポインターを表示します。もう一度押すと、ポインターは消えます。	52 39、43

※メニュー画面、調整画面表示後、およそ30秒間ボタン操作がなければ自動的に表示は消え、調整値を記憶します。

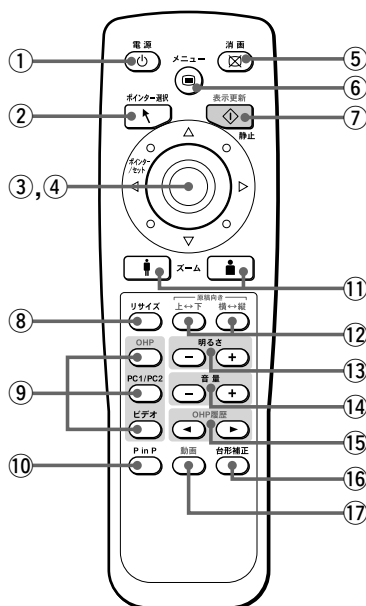
※メニュー調整の詳細については、47ページ以降を参照してください。

ボタンの説明



名称	説明	参照ページ
① リサイズボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、表示画面のサイズを変更するときに押します。 ・PC選択時、自動で同期調整を行うときに押します。 	38 43
② 台形補正ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・台形補正を行うときに押します。 	24
③ 消画ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプを消灯せずに、表示画面を一時的に消します。もう一度押すと、すぐに映像が復帰します。 	39、45
④ 動画ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、原稿を動かしながら表示画面を確認するときに押します。 	37
⑤ 原稿向きボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、表示画面の向きを切り替えるときに押します。(◻)ボタンを押すと表示画面の上下が逆になり、(◻)ボタンを押すと縦表示/横表示が切り替わります。 	36
⑥ OHP履歴/音量ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、表示更新をした画像は自動的に最大8枚まで内部メモリに記憶されます。その画像を呼び出すときに押します。 ・PC選択、ビデオ選択時の音量調整を行います。(◀)ボタンを押すと音量が小さくなり、(▶)ボタンを押すと音量が大きくなります。 	38 44
⑦ 表示更新/静止ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、表示画面を更新するときに押します。原稿を取り替えたり動かしたりしてからもう一度押すと表示画面が更新されます。 ・PC選択、ビデオ選択時、表示画面を静止画にするときに押します。 	37 44

リモコン

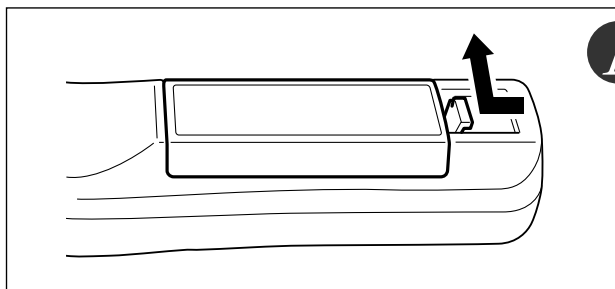


名称	説明	参照ページ
① 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・投写ランプの点灯または消灯を行います。 ・投写ランプが消灯しているとき、このボタンのみが有効です。 	23、34、46
② ポインター選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ポインターの形状を選択するときに押します。 	39、44
③ ポインター/セットボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー画面で、各メニュー項目を確定するときに押します。 ・メニュー画面が表示されていないときは、ポインターを表示します。もう一度押すと、ポインターは消えます。 	52 39、43
④ 移動ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー画面で、項目の切り替えや調整値の設定、選択をします。 ・ズーム表示しているときは、ズーム位置を移動します。 ・ポインターを表示しているときは、ポインターを移動します。 	51 37、43 39、43
⑤ 消画ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ランプを消灯せずに、表示画面を一時的に消します。もう一度押すと、すぐに映像が復帰します。 	39、45
⑥ メニューボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー画面を表示します。また、メニューの選択をします。 	47
⑦ 表示更新/静止ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、表示画面を更新するときに押します。原稿を取り替えたり動かしただりしてからもう一度押すと表示画面が更新されます。 ・PC選択、ビデオ選択時、表示画面を静止画にするときに押します。 	37 44
⑧ リサイズボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、表示画面のサイズを変更するときに押します。 ・PC選択時、自動で同期調整を行うときに押します。 	38 43
⑨ 入力選択ボタン (OHP、PC1/PC2、ビデオ)	<ul style="list-style-type: none"> ・入力画面の切り替えを行います。 ・パソコン入力選択時は、パソコン入力端子からの映像を、ビデオ入力選択時はビデオ入力端子からの映像を投写します。また、OHP選択時は本体の読み取り部に置いた印刷物や資料の映像を投写します。 	34
⑩ P in Pボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・PC選択時、接続したビデオ機器の映像を子画面として画面右下に表示するときに押します。 	45
⑪ ズームボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・倍率調整を行います。☰ボタンを押すと映像が縮小し、☒ボタンを押すと映像が拡大します。 	37、43
⑫ 原稿向きボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、表示画面の向きを切り替えるときに押します。☰ボタンを押すと表示画面の上下が逆になり、☒ボタンを押すと縦表示/横表示が切り替わります。 	36
⑬ 明るさボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・明るさ調整を行います。☹ボタンを押すと映像が暗くなり、☺ボタンを押すと映像が明るくなります。 	36、42
⑭ 音量ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・PC選択、ビデオ選択時の音量調整を行います。☹ボタンを押すと音量が小さくなり、☺ボタンを押すと音量が大きくなります。 	44
⑮ OHP履歴ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、表示更新をした画像は自動的に最大8枚まで内部メモリに記憶されます。その画像を呼び出すときに押します。 	38
⑯ 台形補正ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・台形補正を行うときに押します。 	24
⑰ 動画ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP選択時、原稿を動かしながら表示画面を確認するときに押します。 	37

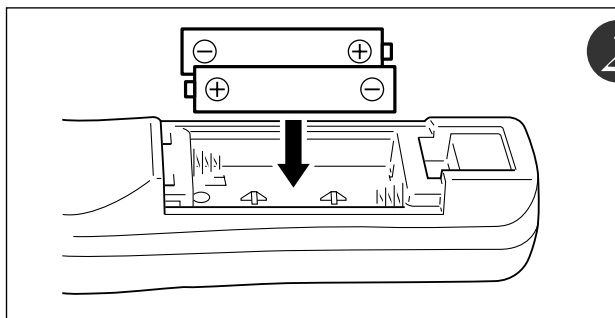
リモコンの操作

- ・リモコンは本機のリモコン受光部（前と後にあります）から約7m、左10° 右10° の範囲でお使いください。ただし、電池の消耗により距離は短くなります。
- ・リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物があるとリモコンは動作しません。

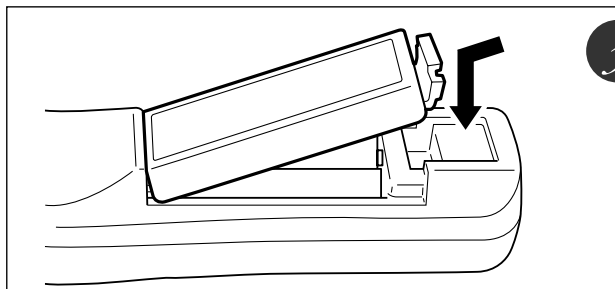
電池の入れ方



1 カバーのツメを引ながら押し上げます。



2 ケース内部の表示通りに⊕⊖の向きを合わせて入れます。



3 もとに戻します。



注意

リモコンの取り扱い

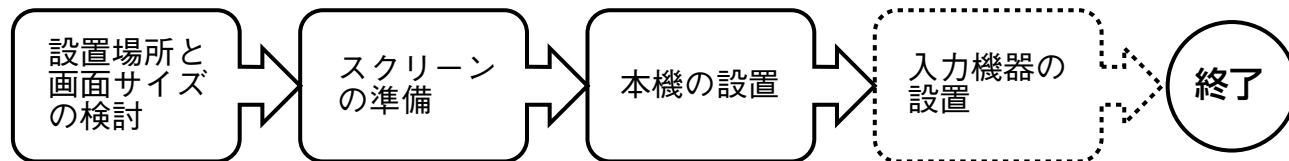
- ・机から落とすなど強い衝撃を与えないでください。破損し動作しなくなる場合があります。
- ・水などをかけないでください。かかった場合はすぐふき取ってください。
- ・熱や湯気をさけてください。長期間使用しないときは乾電池を取り出してください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池を分解、加熱、火の中への投入しないでください。
- ・使用済みの乾電池は、各自治体の廃棄方法にしたがってください。
- ・インバータ機器が近くにある場合、リモコンが動作しないことがあります。
- ・インバータタイプの蛍光灯をお使いの場合、リモコンが動作しない、または効きが悪くなる場合があります。

お知らせ

- ・電池を取り換えるときは、単3乾電池をお買い求めください。
- ・ニカド電池または他の充電式の電池は使用できません。マンガン電池または、アルカリ電池をお使いください。

設置のしかた

設置の順序

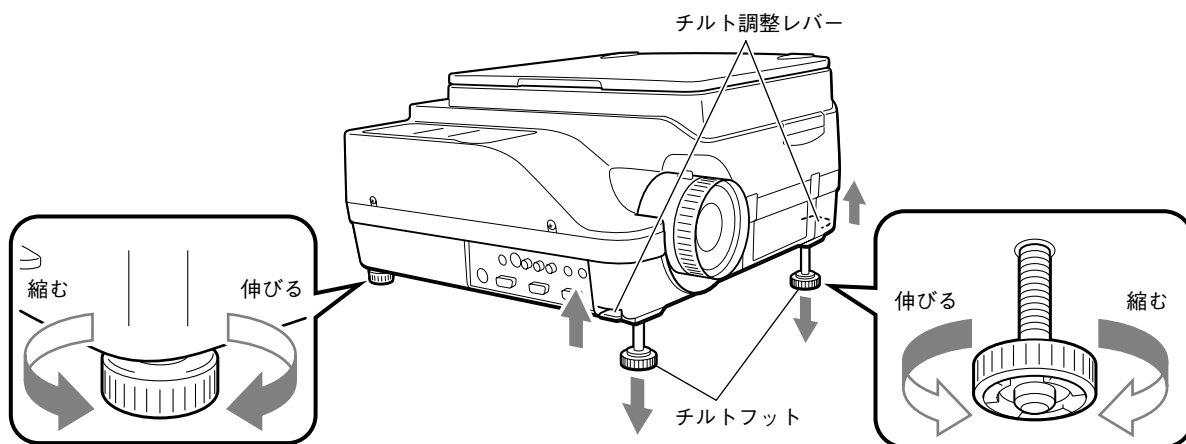


22ページの「投写距離と画面サイズ」を参照してください。

パソコン、ビデオデッキなど

チルト(傾斜)の調整

チルトフットを調節することにより、投写画面の位置や傾きを調整することができます。左右のチルト調整レバーを押して本体の前側を持ち上げ、お好みの高さになったら手を離します。チルトフット最下部を廻すことによって、微調整することもできます。左に廻すと伸び、右に廻すと縮みます。また、本体左後部のチルトフットを回し、傾き調整することもできます。



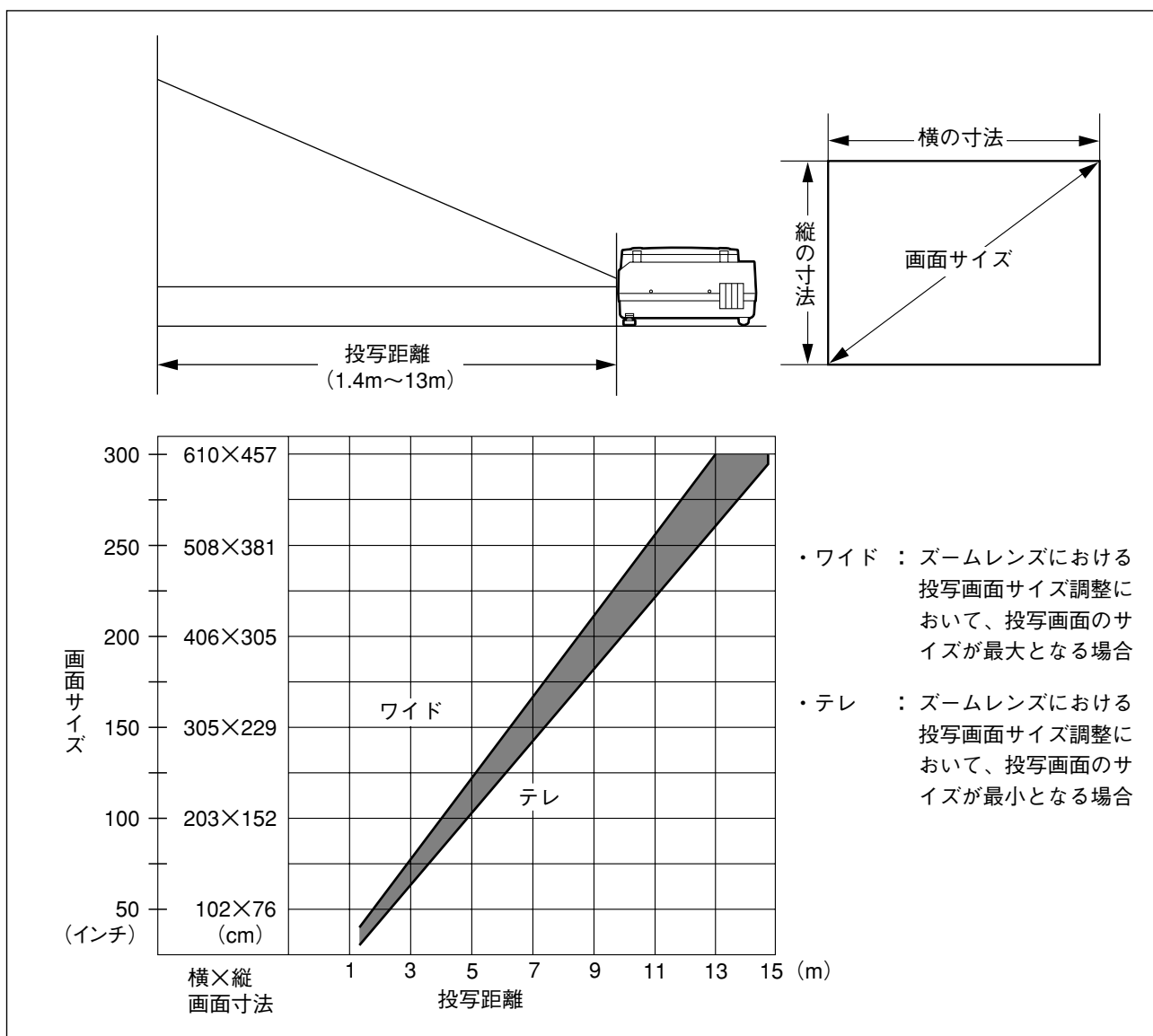
注意


- ・チルトフットを片側だけ廻して、本体を極端に傾けないでください。すべったり、倒れたりすることがあり、事故や故障の原因になります。
- ・本体底面の通風口Aは、強い風で冷却用空気を吸気しています。布や紙が通風口Aに吸い付き塞ぐと、内部温度が上昇し、事故や故障の原因になります。
- ・設置場所の素材によっては、ゴム足により設置面を汚す場合があります。

投写距離と画面サイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、また、どのくらいのスクリーンを用意すればよいかの検討にお使いください。

- フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から1.4m～13mです。この範囲で設置してください。





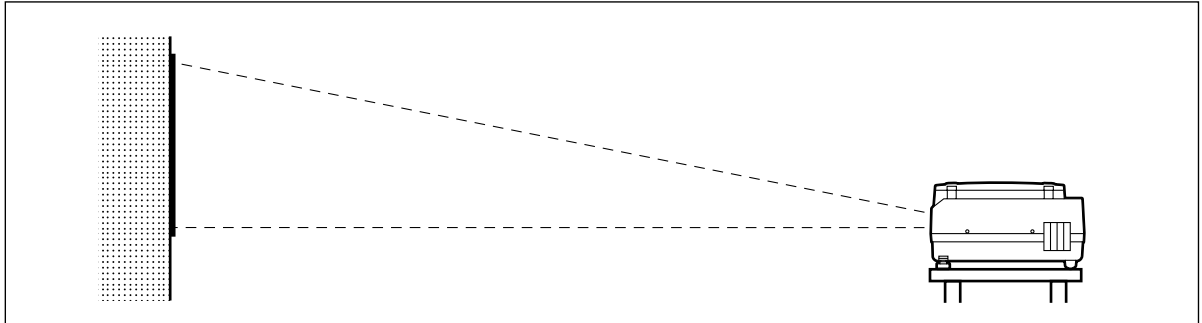
注意

設置場所について

- ・ 高温または低温になる場所には設置しないでください。
使用周囲温度：0℃～35℃
- ・ スクリーンに直射日光や照明の光が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく、見えにくい画面になります。
明るい部屋ではカーテンなどを引いてスクリーン周辺を暗くしてください。
- ・ 湿気やほこり・油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。
レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、映像が悪くなる原因になります。
- ・ 通風口をふさぐような場所や風通しの悪い狭い所に設置しないでください。温度が上昇して火災や事故の原因になります。（通風口は底面、右側面にあります。）

標準的な設置

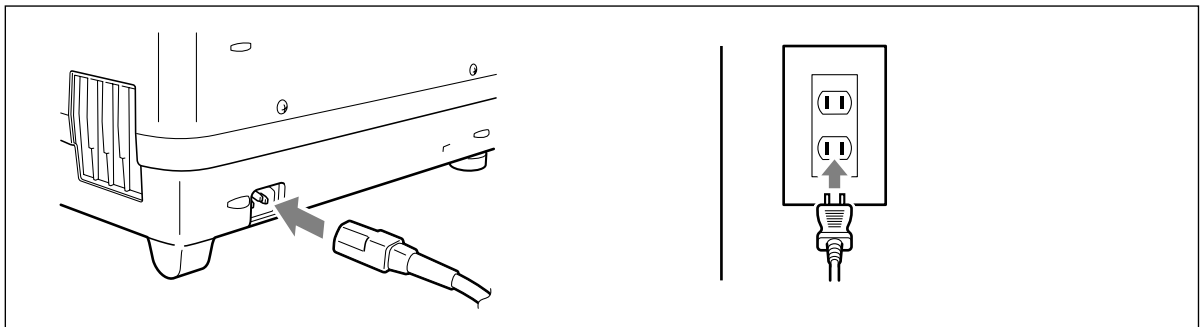
1





設置場所を選ぶ

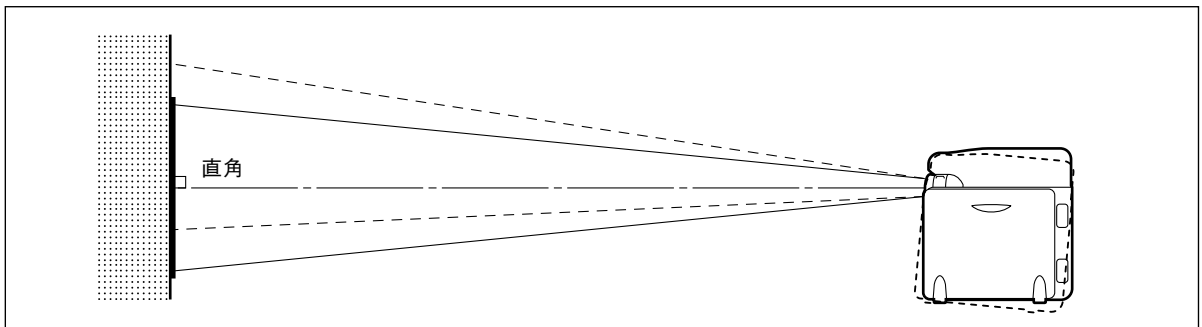
できる限り水平で安定した丈夫な台の上に設置します。

2



付属の電源コードを接続し、 ボタン (またはリモコンの  ボタン) を押す

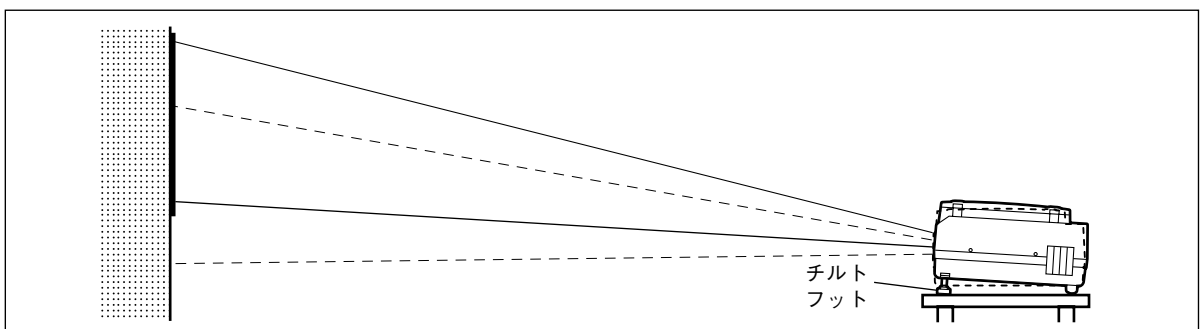
3



レンズの向きをスクリーンに直角に修正する

本機を右または左に回して、画面の上下が平行になるようにします。

4



投写したい高さに本機のチルト調整をします。(チルト調整角は $0^{\circ} \sim 7^{\circ}$)

チルト調整をすると投写画面位置を上下できます。





台形補正について

表示画面が歪んでいる場合は、台形補正を行うことによって歪みを解消することができます。

台形補正のしかた

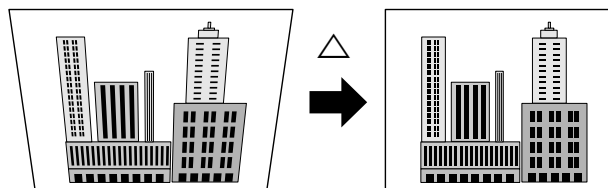
台形補正

 ボタン (またはリモコンの  ボタン) を押し、「キーストンメニュー」を表示します。

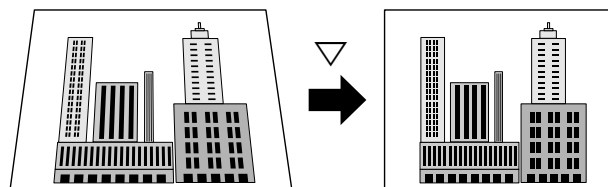


キーストンメニュー

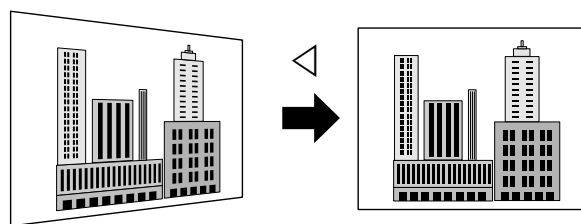
△ボタンを押すと、画面上部が狭くなります。



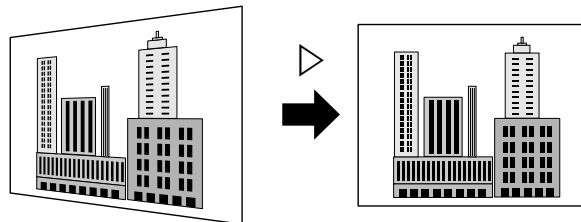
▽ボタンを押すと、画面下部が狭くなります。





◁ボタンを押すと、画面左部が狭くなります。



▷ボタンを押すと、画面右部が狭くなります。



◆  ボタン (またはリモコンの  ボタン) を押し、「0」(補正無し)に戻ります。

お知らせ

- ・台形補正を行った場合、画面端の解像度が低下し、小さな文字などが見えにくくなります。解像度を落とさたくないときは、なるべく水平な台の上に設置し、キーストンメニューの数値を"0" (補正無し) に設定してください。
- ・台形補正は、画像処理を行っている関係で、台形補正を行わない場合に比べ表示画像 (文字等) が多少にじんで表示されます。
- ・VGA解像度 (640×480ドット) より小さい解像度を表示して水平台形補正をいっぱいかけると、映像の一部が欠ける場合があります。詳しくは29ページをご覧ください。
- ・台形補正は表示している映像信号により調整範囲が異なります。
- ・台形補正で水平方向の調整値を最大 (または最小) にすると垂直方向の調整値がプラス方向に補正できません。

接続のしかた



接続上のご注意

- ・本機および接続機器を保護するため、各々の電源を切ってから接続してください。
- ・接続する機器の接続や使用方法は各々の取扱説明書をご覧ください。
- ・ノートパソコンと接続する場合、ノートパソコンの液晶画面に映像を表示していると正しく表示されない場合があります。ノートパソコンの表示をOFFにすると正しく表示されます。ノートパソコンの表示をOFFにする方法は各メーカーにより異なります。詳しくはノートパソコンの説明書をご覧ください。
- ・パソコンのモデルおよび設定によっては接続できないことがあります。販売店にご相談ください。

パソコンとの接続

●ケーブル、アダプター一覧表

メーカー	タイプ	RGB出力端子 機種	接続
PC/AT(DOS/V) 互換機	ノートブック、 デスクトップ	ミニD-SUB15ピン (VGA) 各社	本体付属ケーブル(MPC-VGA)
NEC PC-98シリーズ	ノートブック	ミニD-SUB15ピン (VGA) 98 note Lavie、Aile、Nxシリーズ等	本体付属ケーブル(MPC-VGA)
		丸DIN10ピン 9801NS/L、NS/A、NL/A、9821Np、Ns、 Ne、Ne2、Nd、Nb7、Ld、98PEN等	アダプタ (MPA-98-N) + 本体付属ケーブル (MPC-VGA)
		CRTインターフェース無し 9801NS/E、NS/T、NC、NA、NA/C、NS/R、 NX/C等	CRTバック (市販) *1 + アダプタ (市販) *2 + 本体付属ケーブル (MPC-VGA)
	デスクトップ	ミニD-SUB15ピン (VGA) H7年5月以降のモデル： PC-9821Xa7、Xa10、Xe10等 D-SUB15ピン (ミニでない) 9801BA2、BS2、BX2、9821Xa、Xe、Ap2、 (9801、E、F、M、XA9821Cb以外) 等	本体付属ケーブル (MPC-VGA) アダプタ (市販) *2 + 本体付属ケーブル (MPC-VGA)
アップル Macintosh	ノートブック	PowerBook G3 (モニタ出力端子がミニD-SUB15ピンのもの)	本体付属ケーブル (MPC-VGA)
		PowerBook (iBook、DUO、100、140、145B、150、170等を除く)	アダプタ (市販) *3 + アダプタ (MPA-MAC-P) + 本体付属ケーブル (MPC-VGA)
		PowerBook DUO * iBook、PowerBook 100、140、145B、150、170 等、モニタ出力がない機種は接続できません。	アダプタ (市販) *3 + アダプタ (MPA-MAC-P) + 本体付属ケーブル (MPC-VGA) * DUO DockまたはMini Dockが必要です。
	デスクトップ	G3、G4 (モニタ出力端子がミニD-SUB15ピンのもの) 各機種 (モニター一体型を除く) * iMac、Classic、一部のPerfoma等、モニター 一体型の機種は、モニタ出力端子がない ため接続できません。	本体付属ケーブル (MPC-VGA) アダプタ (MPA-MAC-P) + 本体付属ケー ブル (MPC-VGA) * Power Mac G100には、別途ディスプレイア ダプタ (アップル製) が必要です。

*1 CRTバック (NEC製: PC-9802NS/E-14U)

*2 アダプタ (市販): 98用D-SUB15ピン オス ↔ ミニD-SUB15ピンメス (NEC製: PC-9821-K13、又はサードパーティ製)

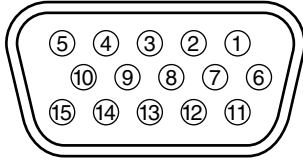
*3 アダプタ (市販): パワーブック専用アダプタ (アップル製: Power Book Video Adapter Cable M3927LL/A、又はサードパーティ製)。
パワーブックに付属している場合もあります。



パソコン入力端子、出力端子について

パソコン入力端子、出力端子は、15ピンミニD-SUB型コネクタを使用しています。

各ピンと信号入力、信号出力との関係は次の通りです。



① RED VIDEO	⑥ GND	⑪ NC
② GREEN VIDEO	⑦ GND	⑫ Pull up (+5V)
③ BLUE VIDEO	⑧ GND	⑬ H.SYNC
④ GND	⑨ NC	⑭ V.SYNC
⑤ NC	⑩ GND	⑮ Pull up (+5V)

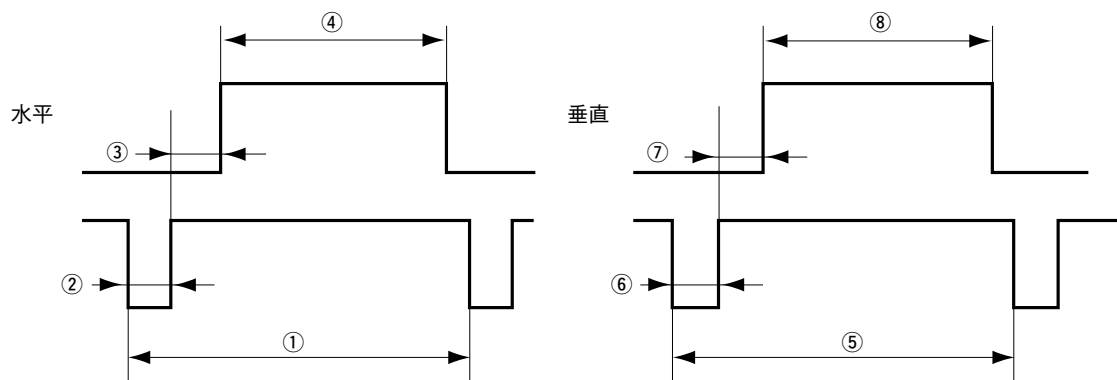
お知らせ

- ・本機のRGB（15P）入力端子、出力端子はアナログ方式です。デジタル出力方式のパソコンとは接続できません。
- ・プラグ&プレイには対応しておりません。

RGB映像出力について

●信号のタイミング

RGB映像出力端子から出力する信号のタイミングは以下の通りです。(XGA 60Hz相当)
 「設定2」メニューの「RGB-OUT選択」で「PC・OHP」「OHP」のどちらを選択しているかによって、出力される映像信号が決定します。詳しくは49ページをご覧ください。



水 平	①	周 期	20.677 μ S
	②	同期信号幅	2.092 μ S
	③	バックポーチ	2.462 μ S
	④	表示期間	15.754 μ S
垂 直	⑤	周 期	806H
	⑥	同期信号幅	6H
	⑦	バックポーチ	29H
	⑧	表示期間	768H
スキャンモード			ノンインターレース

お知らせ

- ・ 接続するモニターやプロジェクタによっては、画面が正常に表示されない場合があります。
- ・ スタンバイ時はパソコン映像を出力します。

パソコン画面の映像が投写されない場合は…

パソコンの映像が投写されない場合や、投写はされるが映像が正常でない場合には、次に示すことをご確認ください。

● 映像が投写されない場合

パソコンからの外部出力信号がMP-700に入力されない場合、MP-700の表示画面に“PC信号が入力されていません。”と表示されます。“PC信号が入力されていません。”が表示された場合は、次のことを確認してください。

1 パソコンを再起動してみてください。

パソコンを起動したあとにMP-700の接続を行うと、パソコン側でMP-700の接続が認識されない場合があります。認識されないと、パソコンからの外部出力信号が出力されないため投写されません。

2 パソコン側の機能を調べてください。

ノートパソコンによっては、「外部出力端子」から信号を出力するための操作が必要になるものがあります。その操作をしないとノートパソコンから外部出力信号が出力されない場合があります。お使いのノートパソコンの取扱説明書をご覧ください、外部出力端子から信号を出力するための操作を行なってください。

操作例)

- ・ IBM PC/AT , DOS/V , PC-98NX機の場合：
Fnキー＋「(F1)～(F12)キーのいずれか（機種によって操作は異なります）」を押す。
- ・ Nrシリーズ以降のPC98ノート（PC-98NXは除く）の場合：
「サスペンドレジューム」スイッチを押す。

○パソコンとの接続不具合時の対応一覧

メーカ	シリーズ	外部出力切替方法	メーカ	シリーズ	外部出力切替方法
IBM	Think Pad	Fn+f7	シャープ	メビウス	Fn+f5
NEC	LAVIE Naシリーズ	並列出力	SONY	VAIO	Fn+f7
			DELL	LATITUDE	Fn+f8
NEC	LAVIE Nrシリーズ	タスクバーにて切替	東芝	DYNABOOK	Fn+f5
			Panasonic	Let's note	Fn+f3
NEC	Nx	Fn+f3	富士通	FMV	Fn+f10
COMPAQ	CONTURA	Fn+f4	三菱	apricot	Fn+f5
	ARMADA				

* この表はこれまでに起きた状況のまとめであり、全ての接続を網羅しているわけではありません。

* 記載された会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

● ノートパソコンの画面は正常だが、映像が正常に投写されない

1 パソコン側の機能を調べてください。

ノートパソコンの液晶画面は正常に表示されていても、投写された映像が正常に投写されない場合があります。多くの場合、ノートパソコンの制約により同時表示（パソコンの画面を表示しながら、外部出力信号も同時に出力すること）すると、MP-700で対応できる範囲の信号から大きくはずれてしまい、正常に投写することができなくなってしまいます。

この場合、MP-700側で調整を行っても正常な映像にはなりません。

同時表示をやめて外部出力信号だけを出力するための操作を行なうと、MP-700でパソコン画面が正常に投写される場合があります。詳しくは、お使いのノートパソコンの取扱説明書をご覧ください。

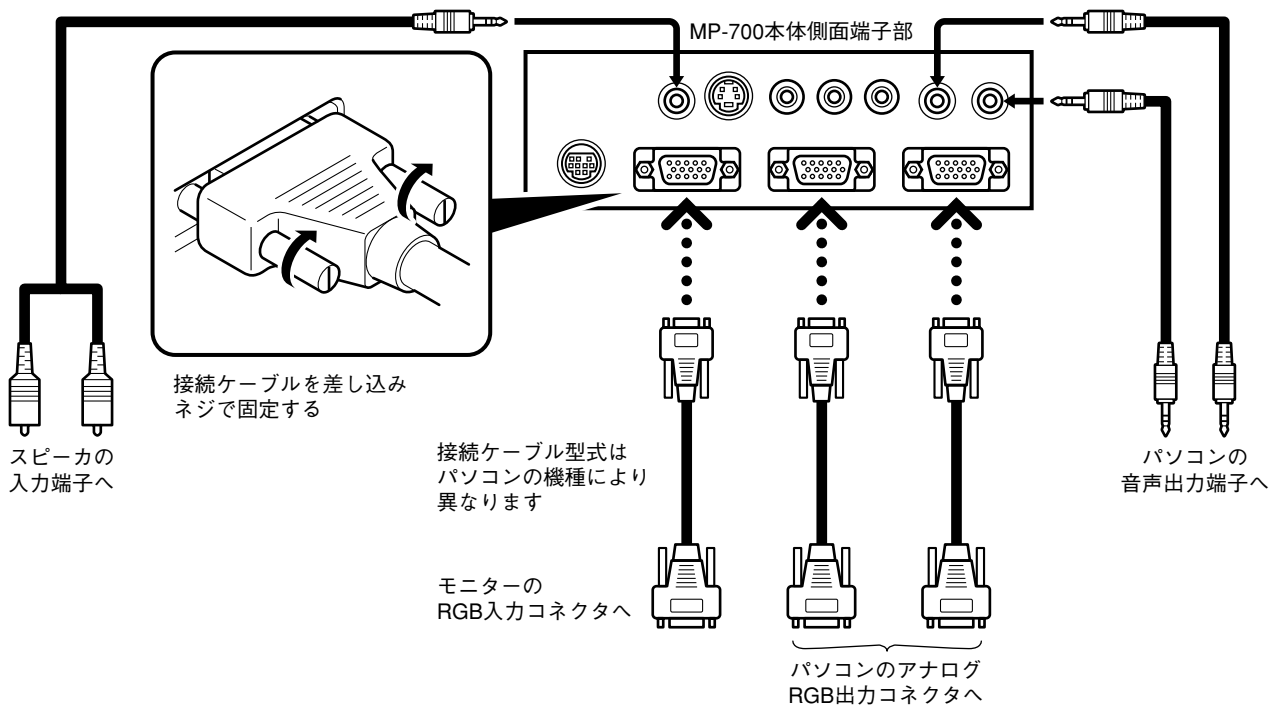
入力信号対応表（パソコン映像入力端子）

MP-700は●印のついた信号に対応しています。ただし、パソコンの機種によって投写画面にちらつきやにじみが出る場合は、「同期調整」メニューで画面調整を行ってください。

信号名	解像度 (水平×垂直)		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	対応の可否
NTSC RGB	-	-	15.7	60	×
PAL/SECAM RGB	-	-	15.6	50	×
PC-98 Normal*	640	400	24.8	56	●
PC-98 Hi	640	400	31.5	70	●
VGA-GR1	640	480	31.5	60	●
VGA-GR2*	640	400	31.5	70	●
VGA-GR3*	640	350	31.5	70	●
VGA-TX1*	720	400	31.5	70	●
VGA-TX2*	720	350	31.5	70	●
640×480 72Hz	640	480	37.8	72	●
640×480 75Hz	640	480	37.5	75	●
640×480 85Hz	640	480	43.2	85	●
Mac13"RGB	640	480	35.0	66	●
800×600 56Hz	800	600	35.1	56	●
800×600 60Hz	800	600	37.8	60	●
800×600 72Hz	800	600	48.0	72	●
800×600 75Hz	800	600	46.8	75	●
Mac16"RGB	832	624	49.7	74	●
1024×768 43Hz	1024	768	35.5	43	×
1024×768 60Hz	1024	768	48.3	60	●
1024×768 70Hz	1024	768	56.4	70	●
1024×768 75Hz	1024	768	60.0	75	●
1024×768 85Hz	1024	768	68.7	85	●
MAC19"1024×768	1024	768	60.2	75	●
MAC21"1152×864	1152	864	68.7	75	●
1280×960 60Hz	1280	960	60.0	60	●
1280×960 85Hz	1280	960	85.9	85	●
1280×1024 60Hz	1280	1024	64.0	60	●
1280×1024 75Hz	1280	1024	80.0	75	●
1280×1024 85Hz	1280	1024	91.1	85	●
1600×1200 60Hz	1600	1200	75.0	60	●
1600×1200 65Hz	1600	1200	81.3	65	×
1600×1200 70Hz	1600	1200	87.5	70	×
1600×1200 75Hz	1600	1200	93.8	75	×
1600×1200 85Hz	1600	1200	106.3	85	×

- ・入力信号の解像度が1024×768ドットより低い場合は拡大し、高い場合は圧縮して表示します。
- ・上記※の信号は、水平台形補正をいっぱいかけると映像の一部が欠ける場合があります。これらの信号を使用し、台形補正をするときは、映像を確認しながら支障の出ない程度に設定してください。

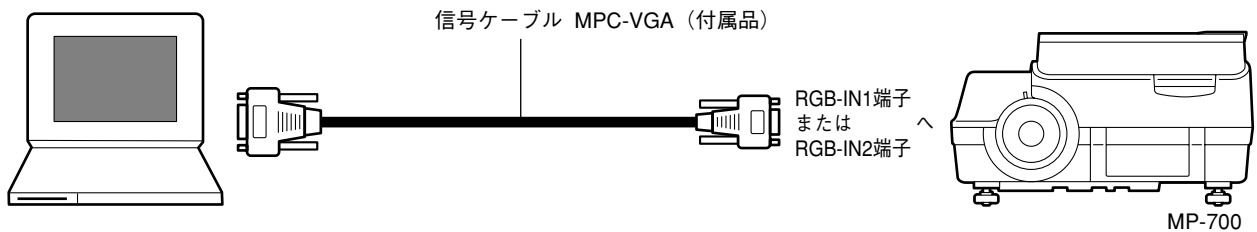
●基本的な接続



お知らせ

パソコン入力端子には、映像／音声共にそれぞれ「1」と「2」があります。接続するときは映像と音声の入力を一致させてください。
一致していないと映像や音声が正常に出力されません。

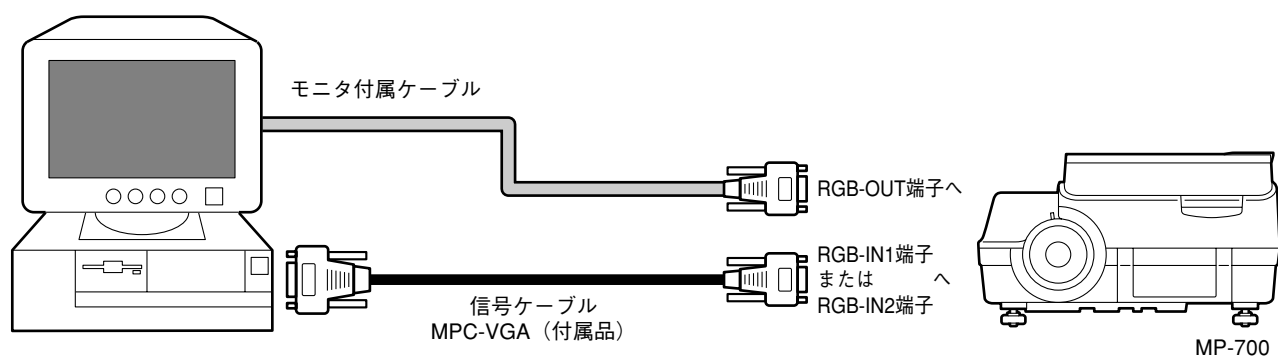
●IBM NOTEおよび互換機 (DOS/V) ,PC-98NX NOTEの場合



お知らせ

MPC-VGAのケーブルを接続してから、パソコン本体のソフトで、外部CRT出力/内部液晶出力状態の確認とモードセットをしてください。
外部CRT出力のモードになっていないと非接続の状態になります。

●IBMデスクトップおよび互換機 (DOS/V) ,PC-98NXの場合

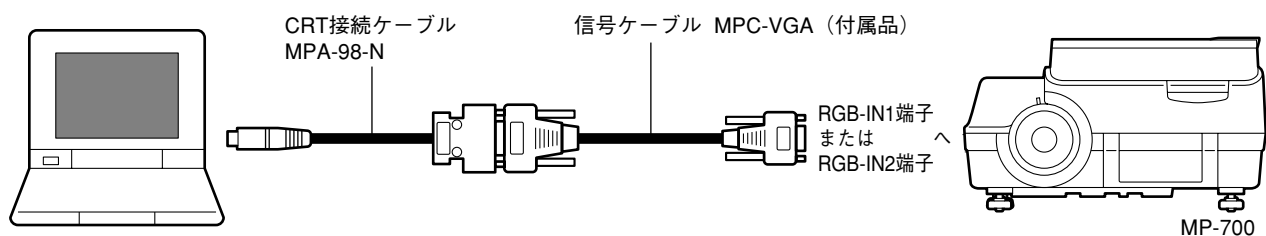


お知らせ

パソコン付属モニターを使用せずパソコン本体とプロジェクタを直接つなぐ場合は、MPC-VGAのケーブルのみで接続できます。

●NEC PC-98NOTE (CRTインターフェイスを持つ機種) の場合

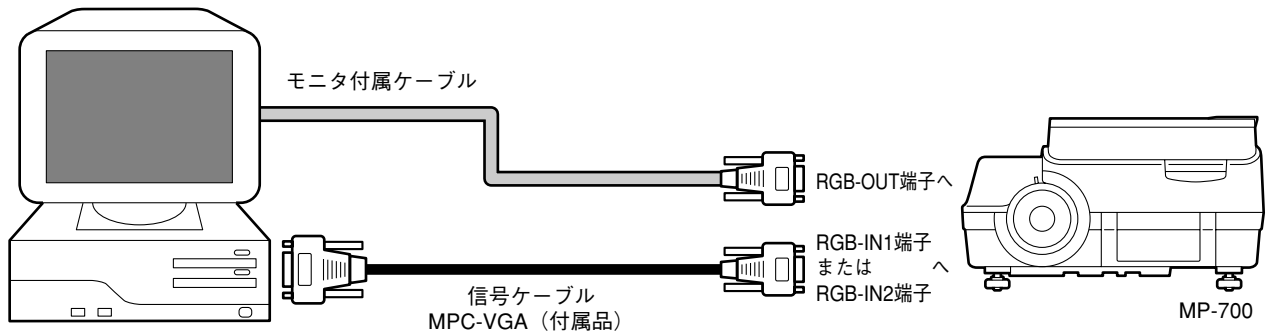
9801NS/L,NS/A,NL/A,
9821Np,Ns,Ne2,Nd,Ld,98PEN等



お知らせ

パソコンのCRTインターフェイスが15ピンミニD-SUBの場合、MPC-VGAのケーブルだけで接続できます。

● NEC PC-98 デスクトップ(パソコン本体のRGB コネクタがミニ D-Sub 15 ピンの機種)の場合
PC-9821Xa7/Xa10/Xe10等

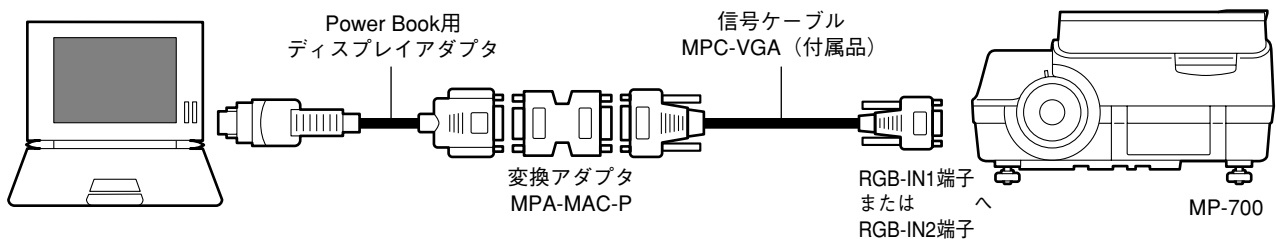


お知らせ

パソコン付属モニターを使用せずにパソコン本体とプロジェクタを直接つなぐ場合は、MPC-VGAのケーブルのみで接続できます。

● Apple Macintosh NOTEの場合

Power Book Duo,100,140,145B,150,170を除く

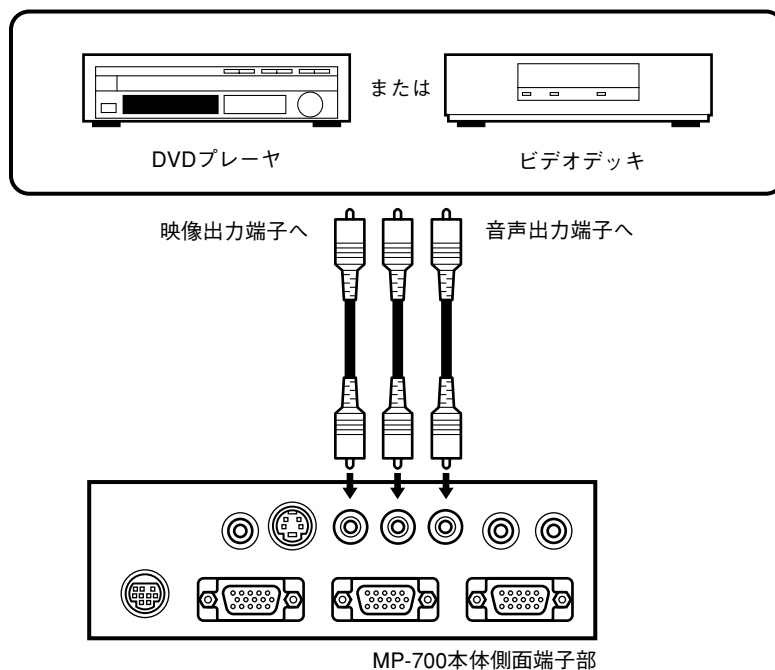


お知らせ

- ・ Power Book Duoの場合、Duo DockまたはMini Dockが必要です。
- ・ Power Book用ディスプレイアダプタはPower Bookに付属されている場合とされていない場合があります。付属されていない場合は、Macintosh販売店より別途お買い求めください。
(アップル製M3927LL/Aまたは相当品)

ビデオデッキ／DVDプレーヤとの接続

ビデオやDVDプレーヤの映像を大画面に映します。

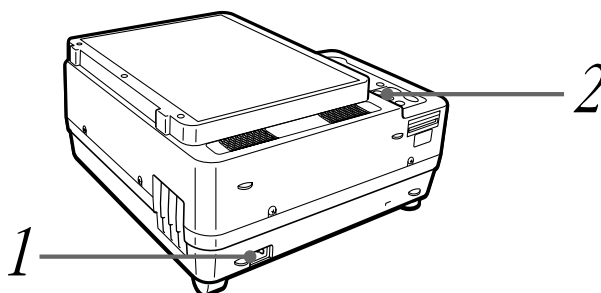


お知らせ

- ビデオとSビデオの両方接続した場合は、Sビデオが優先表示されます。
- ビデオデッキまたはDVDプレーヤ使用時は、原稿カバーを閉じてのご使用をお願いします。
(原稿カバーを閉じて使用しない場合、資料読み取り部のガラスが振動しビビリ音を発生することがあります。)

使いかた

準備



1

電源コードをつなぐ

スタンバイ状態となり、オン/スタンバイLEDが赤色に点灯します。



- オン/スタンバイ
- ランプ/カバー
- 温度

電源ボタンを押します。ファンが回転し、ランプが点灯し、オン/スタンバイLEDが緑色に点灯します。ランプ/カバーLEDが緑色に点灯します。

電源ボタンを押したあと、ランプ/カバーLEDが赤色に点灯すると装置異常です。(詳しくは64ページをご覧ください)

電源ボタンを押す前にレンズキャップが外されていることをご確認ください。

2

入力を選ぶ

表示する映像ソースをOHP、PC1/PC2、ビデオから選択します。



選んだ入力画面になる

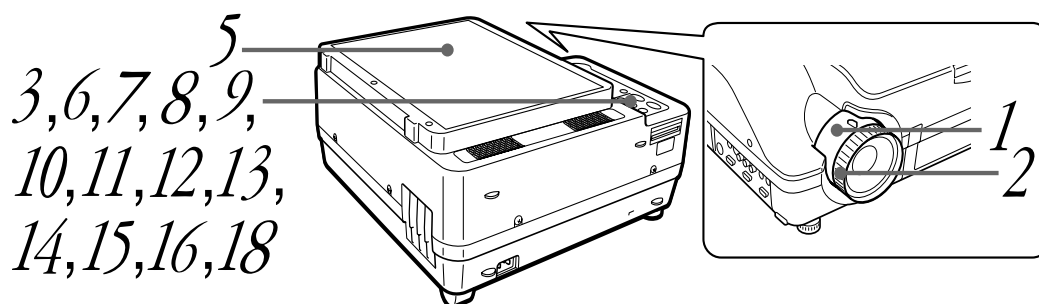
OHPの場合

パソコン、ビデオの場合

35// ページに進んでください。 42// ページに進んでください。

パソコン/ビデオを選んだ場合、接続機器が接続されていないとき、または接続機器の電源が入っていないときは、“信号が入力されていません。”と表示されます。

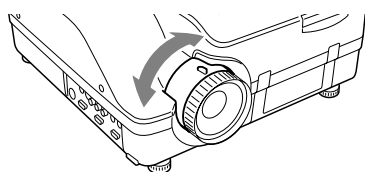
OHP選択時の基本操作



お知らせ

OHP表示（実物投映）の場合、超広角レンズを使用しているため、多少の歪みが生じます。

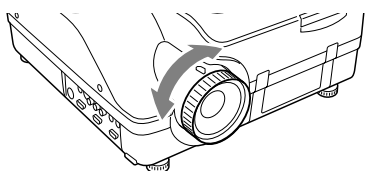
1



表示画面サイズを調整する

投写レンズのズーム調整リングを回転させ、表示画面のサイズを調整します。

2



フォーカスを合わせる

投写レンズのフォーカス調整リングを回転させ、はっきり映る位置に調整します。

3

本体操作部

台形補正



リモコン操作部

台形補正



台形補正をする

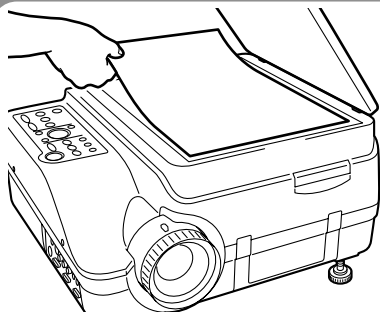
24ページ「台形補正について」をご覧ください。

4

OHP初期画面を確認する

OHPを選択すると、“原稿をセットして表示更新を押してください”というメッセージと全白画面が表示され、画面右下には原稿の動きを映す子画面が表示されます。

5



投写したいものを載せる

資料カバーを開け、映したい資料や印刷物を資料読み取り部に載せます。

子画面表示部分に投写資料の動画像が表示されます。



資料カバーを閉じる。

資料カバーを閉じなくても映すことはできますが、その場合余分なものが写り込んで映像が見にくくなることがあります。

6

本体操作部

明るさ



リモコン操作部

明るさ



明るさを調整する

ボタン（またはリモコンの ボタン）を押すと映像が暗くなり、 ボタン（またはリモコンの ボタン）を押すと映像が明るくなります。

資料や印刷物の色が黒っぽい場合は明るく、白っぽい場合は暗く調整すると、画面が見やすくなります。

7

本体操作部

原稿向き

上↔下 横↔縦



リモコン操作部

原稿向き

上↔下 横↔縦



表示画面の向きを切り替える

原稿方向を表示したい向きにします。

原稿向きボタンを押すと、表示画面の向きが切り替わります。

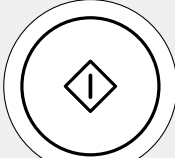
上↔下ボタン：表示画面の上下が逆になります。

横↔縦ボタン：縦表示／横表示が切り替わります。

8

本体操作部


表示更新



静止

リモコン操作部

表示更新



静止


静止画表示する

表示更新ボタンを押すと全白画面表示部分に操作5でセットした投写資料の静止画が表示されます。

9


本体操作部

動画



リモコン操作部

動画




子画面表示を消す

動画ボタンを押すと子画面表示が消え、画面全体が静止画表示になります。

10

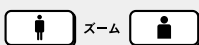
本体操作部

ズーム



リモコン操作部

ズーム



ズーム倍率を調整する

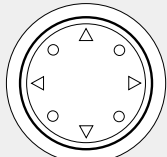
1倍から6.25倍の間で調整できます。

◀ボタン（またはリモコンの◀ボタン）を押すと映像が縮小し、▶ボタン（またはリモコンの▶ボタン）を押すと映像が拡大します。

11


本体操作部

移動



リモコン操作部

移動



ズーム位置を移動する

移動ボタンでズームされる映像の位置を移動することができます。移動できる方向は8方向（上下左右と各斜め方向）です。

12



表示画面のサイズを調整する

縦表示時、表示画面の左右に空白が生じる場合、リサイズボタンを押すと出力映像が表示画面いっぱいに表示されます。
(ズーム倍率を調整している状態の場合は等倍に戻ります。)

13



表示画面を動画にする

原稿を動かしながら表示画面を確認するには次の2つの方法があります。

- ①子画面を動画にする場合
クイックメニュー(55ページ)の「動画設定」で「子画面」を設定します。動画ボタンを押すと画面右下の子画面に動画が表示されます。もう一度動画ボタンを押すと子画面は消えます。
- ②画面全体を動画にする場合
クイックメニュー(55ページ)の「動画設定」で「連続」を設定します。動画ボタンを押すと表示画面全体に約1フレーム/秒の動画が表示されます。この状態で動画ボタンを押しても画像は変化しません。

14



OHP履歴を見る

表示更新ボタンを押して静止画表示した画像は、自動的に最大8枚までOHP履歴画像としてMP-700内部のメモリに記憶されています。OHP履歴ボタンを押すごとに、内部メモリに記憶されている画像が切り替わり、表示されます。詳しくは41ページをご覧ください。

- ◀ ボタン:現在表示している履歴画像の一つ前の画像を再生します。
- ▶ ボタン:現在表示している履歴画像の次の画像を再生します。

OHP履歴表示中のクイックメニュー(55ページ)から履歴画像を切り替えることもできます。

- ・電源ボタンを押してスタンバイ状態にすると、OHP履歴は消去されます。
- ・OHP履歴表示中は、明るさの調整はできません。表示更新ボタンを押す前に調整してください。

15

本体操作部

● OHP保存



画像をCFカードに保存する

57ページ「OHP保存について」をご覧ください。

16

本体操作部

セット



ポインター

リモコン操作部



ポインターを表示する

セット/ポインターボタンを押すと、ポインターを表示します。もう一度押すと、ポインターは消えます。

表示したポインターを動かすときは、移動ボタンを押してください。

ポインターを表示しているときに、ズームまたは明るさの調整を行うと一時的にポインターが消えますが、しばらくすると再表示されます。

17

リモコン操作部

ポインター選択



ポインターの形状を選択する

リモコンのポインター選択ボタンでポインターの形状を切り替えることができます。(↑、●、+ から選択)

「設定2」メニューの「ポインター形状」から選択することもできます。詳しくは49ページをご覧ください。

18

本体操作部

消画



リモコン操作部

消画



映像を消す

消画ボタンを押すと、ランプを消灯せずに投写映像を消すことができます。消画時の表示画像は次の2つから選択することができます。

①消画時の表示を全黒画面にする。

「設定2」メニュー(49ページ)の「消画面面選択」で「黒」を設定します。消画中は、画面右上に全黒画面表示中のアイコン(☒)が表示されます。

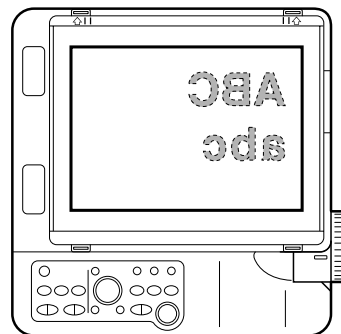
②消画時の表示を任意の画像にする。

「設定2」メニュー(49ページ)の「消画面面選択」で「壁紙」を設定します。消画中は、画面右上に壁紙表示中のアイコン(▲)が表示されます。壁紙にする画像の設定方法については62ページをご覧ください。

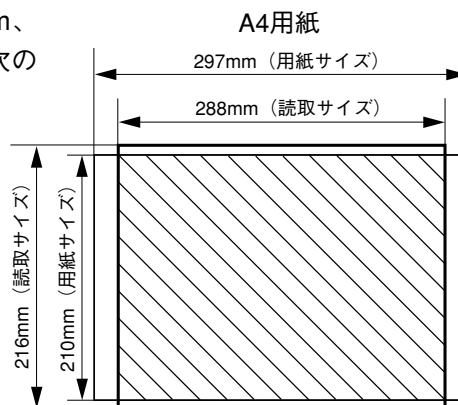
消画したままで、一定時間(約15分間)経過すると自動的にスタンバイ状態になります。

原稿の向きと読み取りサイズ

右図のような向きで資料や印刷物を載せてください。



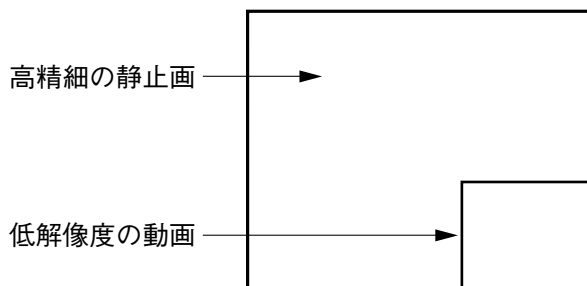
資料や印刷物を読み取れる最大サイズは、縦216mm、横288mmです。従って、A4の用紙を置いた場合は次のようになります（斜線部が映せる範囲です）。



読み取り範囲からはずれた部分は画面に映りませんので、用紙をずらしてご使用ください。


子画面動画表示について


動画ボタンにより子画面に動画を表示することができますが、これは高精細な静止画の親画面を背景に、低解像度の動画を表示するものです。





子画面を表示しているときは、「明るさ」、「横 ↔ 縦」、「上 ↔ 下」の各ボタンは子画面に対して有効になり、ズームボタンは親画面に対して有効になります。（ズームボタンを押しているときは、一時的に小画面が消えますが、しばらくすると再表示されます。）

OHP履歴表示について

 ボタンを押すごとに、内部メモリに記憶されている画像が切り替わり、表示されます。

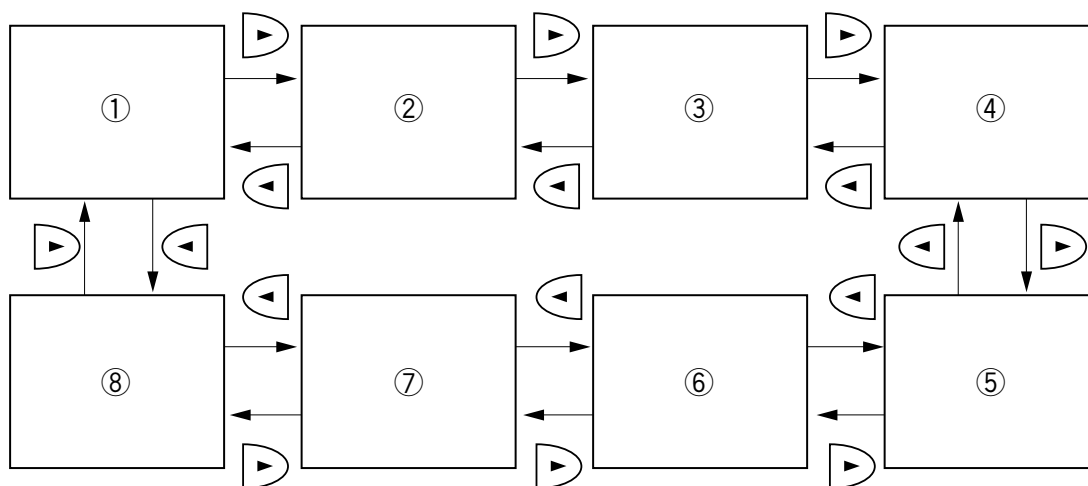
 ボタン：現在表示している履歴画像の一つ前の画像を再生します。

 ボタン：現在表示している履歴画像の次の画像を再生します。

※履歴画像を表示していない状態で  ボタンを押すと、最新の表示更新で記憶された映像を表示します。

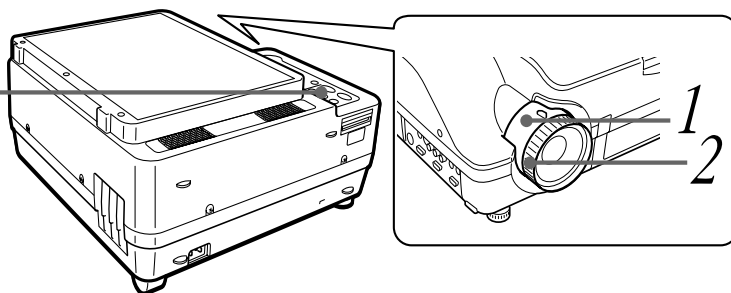
表示更新ボタンを押して静止画表示した画像は、自動的に最大8枚までOHP履歴画像としてMP-700内部のメモリに記憶されています。

電源ボタンを押し、OHPモードを選択したあと、最初に静止画表示した画像が下図の①となります。以降、表示更新するたびに内部メモリに画像が蓄積され、最大8枚を超えた場合は一番古い履歴画像（下図の①）から順に上書きされます。

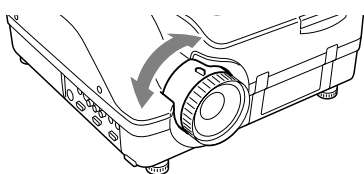


パソコン入力時・ビデオ入力時の基本操作

3, 4, 5, 6, 7,
8, 10, 11, 13



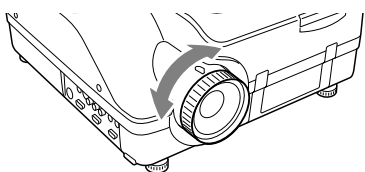
1



表示画面サイズを調整する

投写レンズのズーム調整リングを回転させ、表示画面のサイズを調整します。

2



フォーカスを合わせる

投写レンズのフォーカス調整リングを回転させ、はっきり映る位置に調整します。

3

本体操作部

台形補正



リモコン操作部

台形補正



台形補正をする

24ページ「台形補正について」をご覧ください。

4

本体操作部

明るさ



リモコン操作部

明るさ




明るさを調整する

ボタン（またはリモコンの⊖ボタン）を押すと映像が暗くなり、 ボタン（またはリモコンの⊕ボタン）を押すと映像が明るくなります。

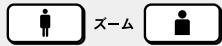
5

本体操作部

ズーム



リモコン操作部



ズーム倍率を調整する

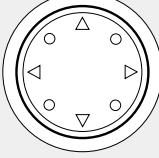
1倍から4倍の間で調整できます。

◀ボタン（またはリモコンの◀ボタン）を押すと映像が縮小し、▶ボタン（またはリモコンの▶ボタン）を押すと映像が拡大します。

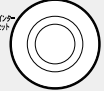
6

本体操作部

移動



リモコン操作部




ズーム位置を移動する

移動ボタンでズームされる映像の位置を移動することができます。移動できる方向は8方向（上下左右と各斜めの方向）です。


7

本体操作部

リサイズ



リモコン操作部




同期調整をする

リサイズボタンを押すと、「同期調整」メニュー（49ページ）の各設定項目を、最適な状態に自動で調整します。

8


本体操作部

セット



ポインター

リモコン操作部



ポインターを表示する

セット/ポインターボタンを押すと、ポインターを表示します。もう一度押すと、ポインターは消えます。

表示したポインターを動かすときは、移動ボタンを押してください。

ポインターを表示しているときに、ズームまたは明るさの調整を行うと一時的にポインターが消えますが、しばらくすると再表示されます。

9

リモコン操作部



ポインターの形状を選択する

リモコンのポインター選択ボタンでポインターの形状を切り替えることができます。(↑、●、+ から選択)
「設定2」メニューの「ポインター形状」から選択することもできます。詳しくは49ページをご覧ください。

10

本体操作部

OHP履歴



音量

リモコン操作部



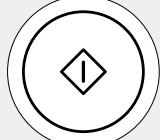
音量を調節する

◀ ボタン (またはリモコンの◯ボタン) を押すと音量が小さくなり、▶ ボタン (またはリモコンの⊕ボタン) を押すと音量が大きくなります。

11

本体操作部

表示更新



静止

リモコン操作部



静止画表示する

静止ボタンを押すとパソコン (またはビデオ) 映像が静止画になります。
静止画を解除するには、もう一度静止ボタンを押すか、動画ボタンを押します。

- ・ 静止画表示中は明るさの調整はできません。静止ボタンを押す前に調整してください。
- ・ 静止画表示中に入力選択ボタンを押すと静止画は解除されます。

12

リモコン操作部



パソコンとビデオを同時に表示する

パソコンとビデオ機器を接続しパソコン入力を選択している場合、P in Pボタンを押すと、ビデオ映像を表示する子画面が右下に表示されます。

クイックメニューの「ピクチャー イン ピクチャー」を「ON」に設定し、ビデオ映像を表示することもできます。詳しくは、56ページをご覧ください。

- ・ P in Pボタンはパソコン選択時のみ有効です。ビデオ選択では使用できません。
- ・ パソコン信号が入力されていない場合、ピクチャーインピクチャー機能は使用できません。

13

本体操作部

消画



リモコン操作部

消画



映像を消す

消画ボタンを押すと、ランプを消灯せずに投写映像を消すことができます。消画時の表示画像は次の2つから選択することができます。

①消画時の表示を全黒画面にする。

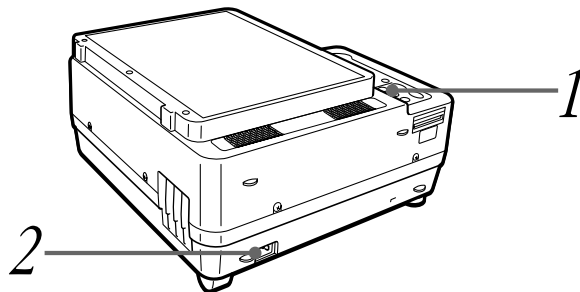
「設定2」メニュー(49ページ)の「消画面面選択」で「黒」を設定します。消画中は、画面右上に全黒画面表示中のアイコン(⊗)が表示されます。

②消画時の表示を任意の画像にする。

「設定2」メニュー(49ページ)の「消画面面選択」で「壁紙」を設定します。消画中は、画面右上に壁紙表示中のアイコン(▲)が表示されます。壁紙にする画像の設定方法については62ページをご覧ください。

消画したままで、一定時間(約15分間)経過すると自動的にスタンバイ状態になります。

終了のしかた



1

本体操作部

電源



リモコン操作部

電源



ランプを切る

電源ボタンを押します。(1秒以上押し続けてください)



投写画面に、“もう一度電源ボタンを押すと消灯します。”と表示されます。



もう一度、電源ボタンを押します。
ランプ/カバーLEDが緑色に点滅し、約1分後に消灯します。
オン/スタンバイLEDが赤色に点灯します。

ランプ消灯時、ランプ/カバーLEDが緑色に点滅中に電源ボタンを押してもランプは再点灯しません。ランプを再点灯するときはオン/スタンバイLEDが赤色点灯後、再度電源ボタンを押してください。

2

- オン/スタンバイ
- ランプ/カバー
- 温度

電源コードを抜く

操作パネル上のオン/スタンバイLEDが消えます。



注意

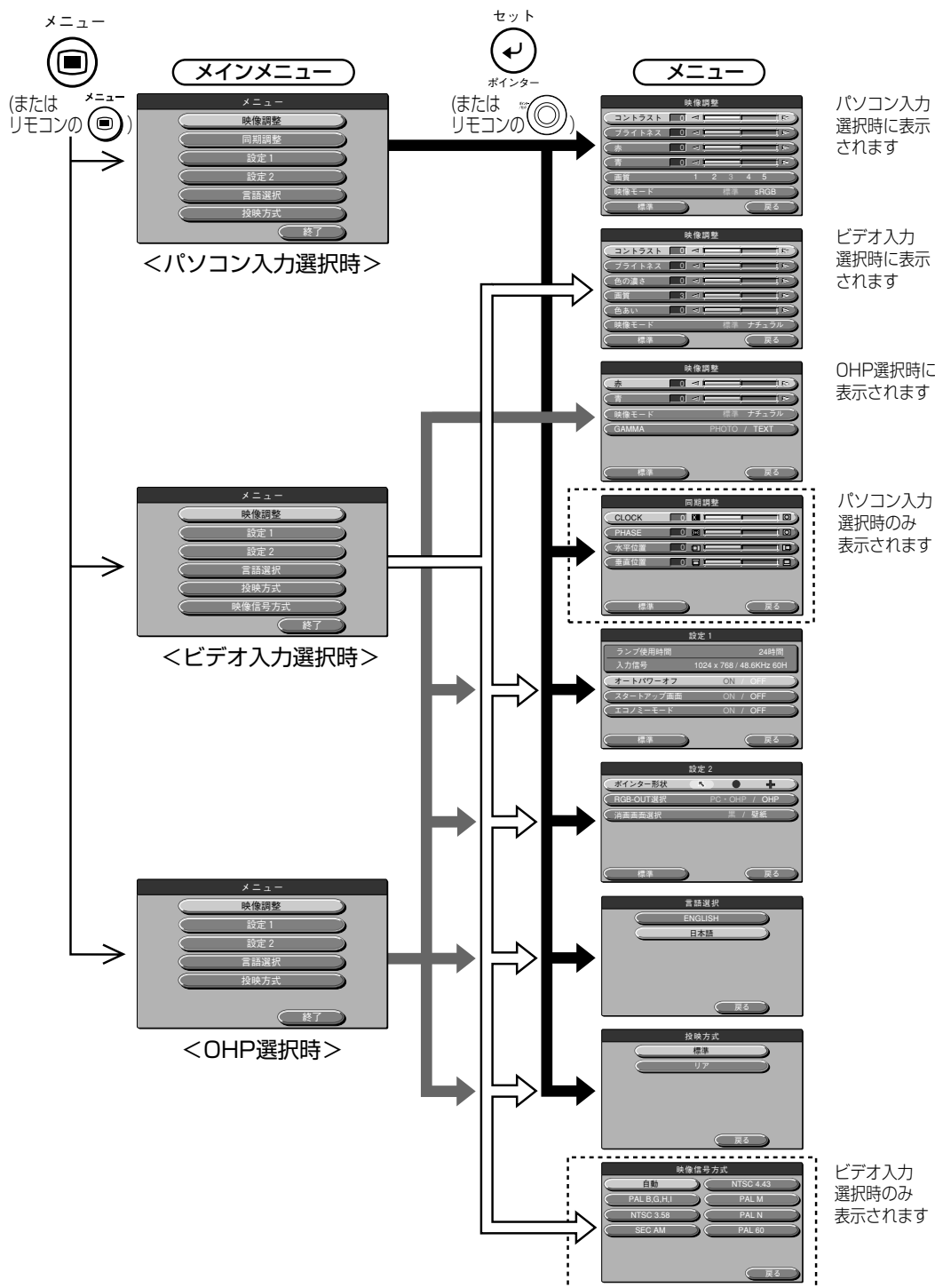
- ・ランプを切る前およびランプ/カバーLEDが消灯する前に電源コードを抜くことはさけてください。ランプの寿命が短くなることがあります。
- ・長時間使用しないときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源プラグをコンセントから抜いたあと、再度コンセントに差し込む場合は、一定の間隔（約10秒間）をあけてください。

調整のしかた

メニューの構成

投写先のスクリーンにメニュー画面を表示させ、ボタン操作で各種調整や設定をすることができます。メニューには、よく使う項目を集めた「クイックメニュー」と、より詳細な設定ができる「メインメニュー」があります。

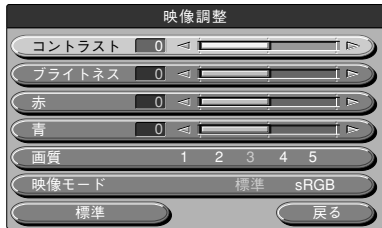
パソコンまたはビデオを接続し、電源を入れた状態で **メニュー** ボタン（またはリモコンの **メニュー** ボタン）を押すと、クイックメニューが表示されます（クイックメニューについては、55ページをご覧ください）。もう一度 **メニュー** ボタン（またはリモコンの **メニュー** ボタン）を押すと、メインメニューが表示されます。メインメニューの画面から調整・設定メニューに移ります。メニュー画面の遷移図を以下に示します。



メニュー項目の説明

各メニュー画面と、設定できる項目・機能について説明します。設定のしかたについては、51ページ「基本操作のしかた」をご覧ください。

◆映像調整（パソコン入力選択時）



<映像調整メニュー>

メニュー項目	設定項目	説明
コントラスト	-100～+100	画面のコントラストを調整します。
ブライトネス	-100～+100	画面の明るさを調整します。
赤	-100～+100	赤色の濃淡が変わります。
青	-100～+100	青色の濃淡が変わります。
画質*	1～5	画像の鮮明度を調整します。数字が大きくなるにしたがって、輪郭がはっきりした画像になります。「3」が標準となります。
映像モード	標準 / sRGB	コントラストが強くメリハリの効いた映像を表示したいときは「標準」、元映像により近い色を再現したいときは「sRGB」を選択します。

※画質調整は拡大ズームした画像や台形補正した画像に対して特に有効です。

◆映像調整（ビデオ入力選択時）



<映像調整メニュー>

メニュー項目	設定項目	説明
コントラスト	-100～+100	画面のコントラストを調整します。
ブライトネス	-100～+100	画面の明るさを調整します。
色の濃さ	-100～+100	色の濃淡が変わります。
画質	0～6	画像の鮮明度が変わります。
色あい	-100～+100	色合いが変わります。
映像モード	標準 / ナチュラル	コントラストが強くメリハリの効いた映像を表示したいときは「標準」、元映像により近い色を再現したいときは「ナチュラル」を選択します。

◆映像調整（OHP 選択時）



<映像調整メニュー>

メニュー項目	設定項目	説明
赤	-100～+100	赤色の濃淡が変わります。
青	-100～+100	青色の濃淡が変わります。
映像モード	標準 / ナチュラル	コントラストが強くメリハリの効いた映像を表示したいときは「標準」、元原稿により近い色を再現したいときは「ナチュラル」を選択します。
GAMMA	PHOTO / TEXT	「TEXT」は文字原稿に、「PHOTO」は写真原稿に合わせた補正がされています。お好みにより選択してください。

◆同期調整（パソコン入力選択時のみ）



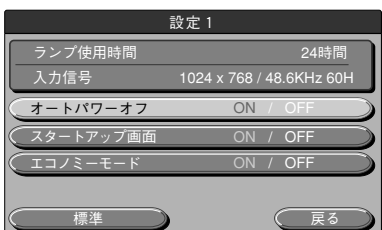
メニュー項目	設定項目	説明
CLOCK	-100～+100	画像の水平サイズを調整します。
PHASE	-100～+100	ノイズ、ちらつきを調整します。
水平位置	-100～+100	画像の水平位置を調整します。
垂直位置	-100～+100	画像の垂直位置を調整します。

<同期調整メニュー>

お知らせ

PC入力信号によっては -100～+100 まで変化しない場合があります。

◆設定 1



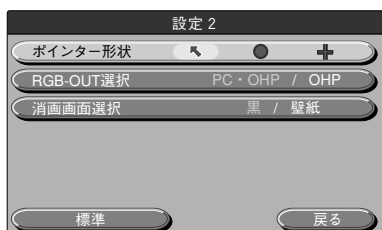
メニュー項目	設定項目	説明
オートパワーオフ	ON/OFF	オートパワーオフのON/OFFを設定します。オートパワーオフをONにした場合、一定時間(約15分)信号が未入力時、自動的にスタンバイ状態になります。
スタートアップ画面	ON/OFF	ランプ点灯時にロゴを表示するかどうかを設定します。
エコノミーモード	ON/OFF	ランプの設定をエコノミー(省電力)モードにします。

<設定 1 メニュー>

お知らせ

「設定 1」メニューには、現在設定されている入力信号とランプ使用時間が表示され、確認することができます。

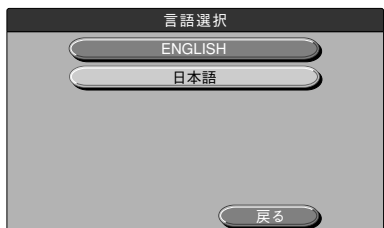
◆設定 2



メニュー項目	設定項目	説明
ポインター形状	↑/●/+	ポインターの形状を3種類から選択します。
RGB-OUT 選択	PC・OHP/OHP	PC・OHP 選択時： 入力選択がOHPのとき、27ページのタイミング(XGA 60Hz)に変換したOHP映像を出力します。入力選択がパソコン/ビデオのときはPC入力映像がスルーで出力されます。 OHP 選択時： 入力選択にかかわらず、27ページのタイミング(XGA 60Hz)のOHP映像を出力します。
消画面面選択	黒/壁紙	消画時に表示する画像を設定します。 黒選択時： 全黒画面を表示します。 壁紙選択時： 壁紙保存した画像を表示します。(壁紙の設定方法については62ページをご覧ください。)

<設定 2 メニュー>

◆言語選択



<言語選択メニュー>

メニュー項目	設定項目	説明
言語選択	ENGLISH	メニューの表示言語を設定します。
	日本語	

◆投映方式



<投映方式メニュー>

メニュー項目	設定項目	説明
投映方式	標準	正面投写・背面投写の設置方法にあわせて設定します。
	リア	

◆映像信号方式（ビデオ入力選択時のみ）



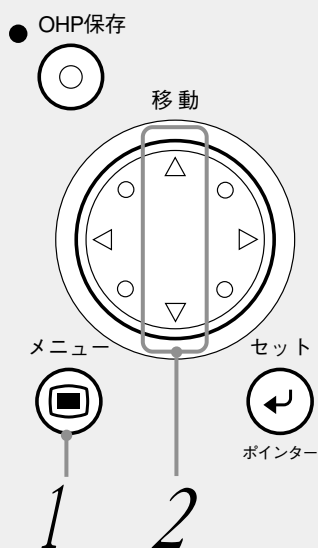
<映像信号方式メニュー>

メニュー項目	設定項目	説明
映像信号方式	自動	入力信号を選択します。
	PAL B,G,H,I	
	NTSC3.58	
	SECAM	
	NTSC4.43	
	PAL M	
	PAL N	
	PAL 60	

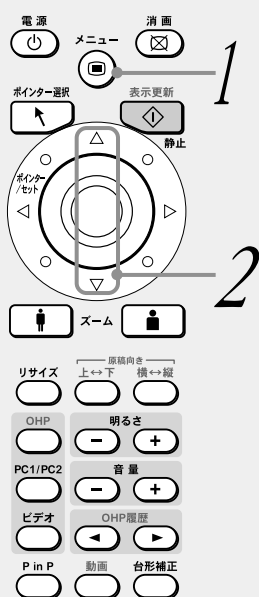
基本操作のしかた

「映像調整」、「同期調整」、「設定1」、「設定2」、「言語選択」、「投映方式」、「映像信号方式」の各メニューに対しての基本操作を説明します。

本体操作部



リモコン操作部



1

メニュー ボタン(またはリモコンのメニューボタン)を押す

メインメニュー画面が表示されます。



<例：パソコン入力選択時>

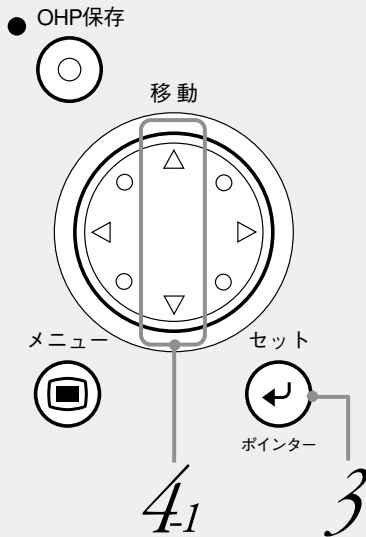
2

△/▽ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ

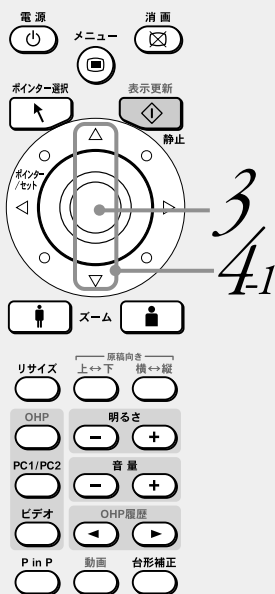


<例：「同期調整」を選んだ場合>

本体操作部



リモコン操作部



3

ボタン(またはリモコンのボタン)を押す

設定したい項目のメニュー画面が表示されます。
「映像調整」メニュー、「同期調整」メニュー、「設定」メニュー、「ビデオ調整」メニューでは、「標準」を選び、^{セット}ボタン(またはリモコンの^{ポインタ}ボタン)を押すと、お買い上げ時の設定に戻すことができます。



<例：同期調整メニュー>

「ON」または「OFF」を選択する場合

「ON」/「OFF」の選択が必要なメニュー項目は、「オートパワーオフ」、「スタートアップ画面」、「エコノミーモード」です。各メニュー項目の詳細については、48 ページをご覧ください。

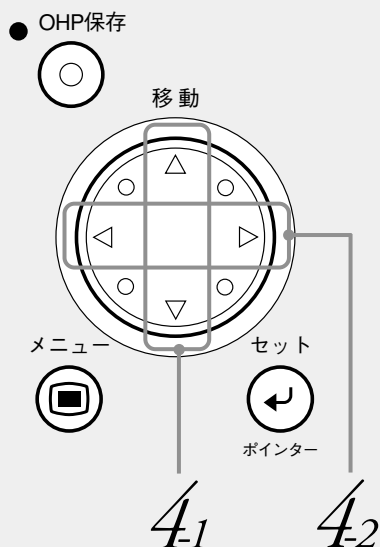
4-1

△/▽ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ

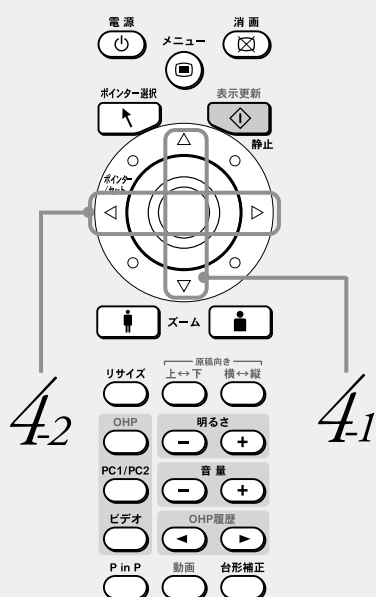


<例：「オートパワーオフ」を選んだ場合>

本体操作部



リモコン操作部



4-2

◁/▷ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



1 ポイント単位で調整する場合

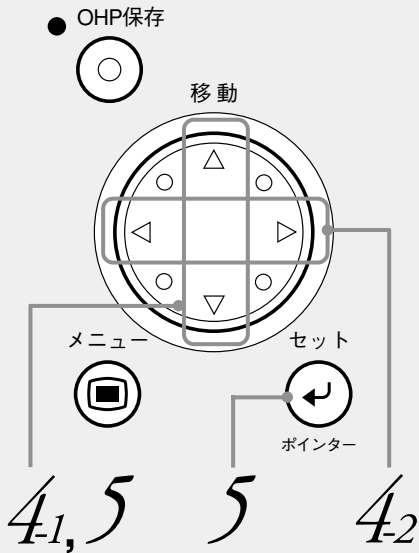
1ポイント単位での調整が必要なメニュー項目は、「コントラスト」、「ブライトネス」、「赤」、「青」、「CLOCK」、「PHASE」、「水平位置」、「垂直位置」、「色の濃さ」、「色あい」、「画質」です。各メニュー項目の詳細については、48ページをご覧ください。

4-1

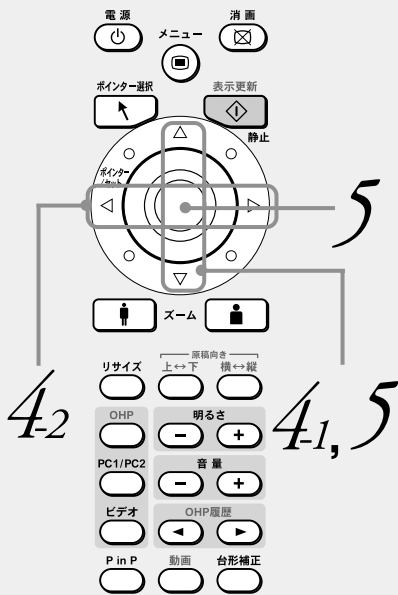
△/▽ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ



本体操作部



リモコン操作部



4-2

◁/▷ ボタンを押して、調整する



その他の場合

その他のメニュー項目は、「言語選択」、「投映方式」、「映像信号方式」です。各メニュー項目の詳細については、48ページをご覧ください。

4-1

△/▽ ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ



<例：「言語選択」メニューで「日本語」を選んだ場合>



5

△/▽ ボタンを押して、「終了」を選び、^{セット} ボタン(またはリモコンの^{ポインター} ボタン)を押す

メインメニュー画面に戻ります。15秒間ボタン操作がなければ自動的に表示は消え、調整値を記憶します。

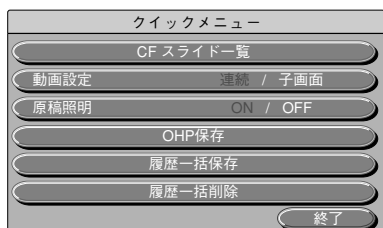
クイックメニューについて

クイックメニューには、よく使う項目が集められています。ここでは、クイックメニューで設定できる項目・機能について説明します。

クイックメニューを表示するには、 ボタン（またはリモコンの  ボタン）を押します。

メニュー項目の説明

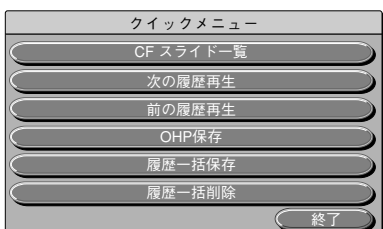
◆ OHP 選択時



メニュー項目	設定項目	説明
CF スライド一覧	—	CF カードに保存した画像データを一覧表示します。
動画設定	連続 / 子画面	「連続」選択時： 表示画面全体に動画を表示します。この時の原稿読み取り速度は1フレーム/秒です。 「子画面」選択時： 表示画面右下に動画を子画面として表示します。この時の原稿読み取り速度は20フレーム/秒です。
原稿照明*	ON/OFF	OHP の照明を点灯するかしないかを設定します。
OHP 保存	—	OHP 画像をCFカードに保存します。(保存のしかたについては、57ページをご覧ください。)
履歴一括保存	—	内部メモリに記憶されているOHP履歴画像をすべてCFカードに保存します。(保存のしかたについては、57ページをご覧ください。)
履歴一括削除	—	内部メモリに記憶されているOHP履歴画像をすべて消去します。

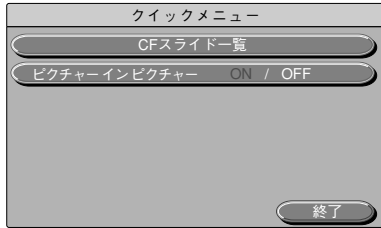
※周囲温度が低温の時に原稿照明のON/OFFを行った場合、OHP画像がしばらく赤っぽくなる場合があります。

◆ OHP 履歴画像表示時



メニュー項目	設定項目	説明
CF スライド一覧	—	CF カードに保存した画像データを一覧表示します。
次の履歴再生	—	現在表示している履歴画像の次の画像を再生します。
前の履歴再生	—	現在表示している履歴画像の一つ前の画像を再生します。
OHP 保存	—	OHP 画像をCFカードに保存します。(保存のしかたについては、57ページをご覧ください。)
履歴一括保存	—	内部メモリに記憶されている画像をすべてCFカードに保存します。(保存のしかたについては、57ページをご覧ください。)
履歴一括削除	—	内部メモリに記憶されている画像をすべて消去します。

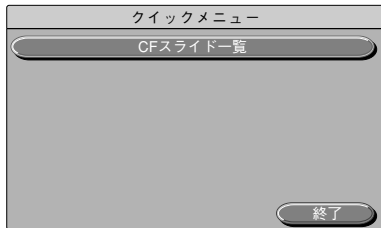
◆パソコン入力選択時



メニュー項目	設定項目	説明
CFスライド一覧	—	CFカードに保存した画像データを一覧表示します。
ピクチャー イン ピクチャー*	ON/OFF	接続したビデオ機器の映像を画面右下に表示するときにONにします。

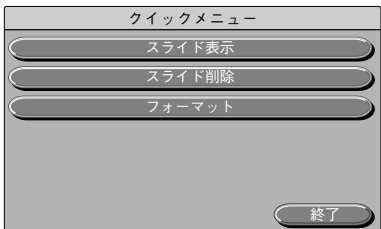
※パソコン入力がない場合は、「ピクチャー イン ピクチャー」メニューは表示されません。

◆ビデオ入力選択時



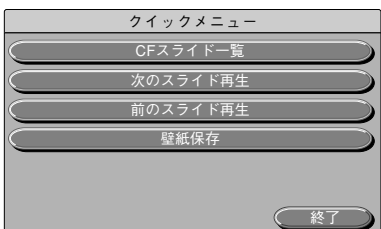
メニュー項目	設定項目	説明
CFスライド一覧	—	CFカードに保存した画像データを一覧表示します。

◆CFスライド一覧時



メニュー項目	設定項目	説明
スライド表示	—	選択している画像を表示します。
スライド削除	—	選択している画像を削除します。
フォーマット	—	CFカードのフォーマットを実行します。

◆CFスライド表示時



メニュー項目	設定項目	説明
CFスライド一覧	—	スライド一覧画面に戻ります。
次のスライド再生	—	現在表示しているスライドの次のスライドを再生します。
前のスライド再生	—	現在表示しているスライドの一つ前のスライドを再生します。
壁紙保存	—	表示しているスライドを、消画時に表示する壁紙として保存します。

OHP保存について

OHP選択時、画像をCFカードに保存することができます。

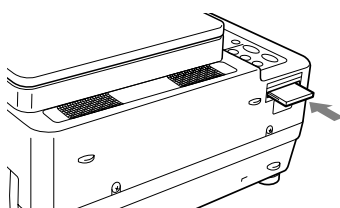
CF (CompactFlash™) カードとはフラッシュメモリが内蔵されたカードのことで、電氣的にデータの消去や書き込みができます。電源が供給されていなくても記録が消されることがないので、CFカードにデータを書きこんでおけば、取り外して画像データを他に移動することができます。

お知らせ

- CFカードに保存できるのはOHP画像のみです。パソコン、ビデオの映像は保存できません。
- 付属のCFカード以外のカードは、使用できない場合があります。
- CFカードを挿入すると自動的にカード内のディレクトリとファイルをサーチします。このため、挿入したCFカード内にディレクトリやファイルが多数あると、サーチに時間がかかる場合があります。

CFカードに画像を保存する

1



本体後部のCFカード挿入口に、CFカードを挿入する

2

CFカードに保存したい画像を表示する

3



● OHP保存 ボタンを押して、保存を実行する

確認画面が表示されるので、「YES」を選択し、^{セット} ボタン(またはリモコンの^{ポインター} ボタン)を押します。

保存中は **CF** アイコンが表示され、OHP保存LEDが点灯します。

お知らせ

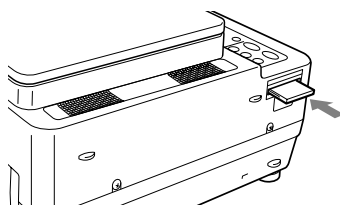
- ・クイックメニューを表示し「OHP保存」を選択して、画像をCFカードに保存することもできます。
- ・クイックメニューを表示し「履歴一括保存」を選択して、内部メモリに記憶されている画像をすべてCFカードに保存することもできます。
- ・OHP履歴画像を表示して保存することもできますが、画質が劣化する場合があります。
- ・OHP保存を実行すると、EXIF2.1規格に準拠したJPEGファイルとして保存されます。
- ・ズーム表示した画像を保存すると、ズーム表示された部分のみ保存されるのではなく、等倍範囲がすべて保存されます。



- ・誤動作・故障の原因となりますので、CFカード挿入口にCFカード以外のカードを挿入しないでください。
- ・CFカード挿入口に異物を挿入しないでください。
- ・CFカードアクセス中にカードの抜き取りはしないでください。（CFカードアクセス中はOHP保存LEDが点灯または点滅します）
- ・マイクロドライブ等、他のカードには対応しておりません。
- ・CFカードは5Mバイト以上の空き容量をもたせて使用してください。
- ・CFカード挿入直後はボタン操作できません。
- ・CFカードを挿入したまま輸送・運搬はしないでください。

CFカードに保存した画像を表示する

1



本体後部のCFカード挿入口に、CFカードを挿入する

2

本体操作部

メニュー




リモコン操作部

メニュー

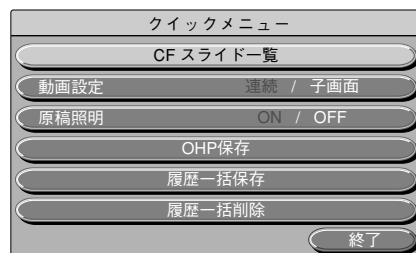


メニュー



ボタン(またはリモコンの  ボタン)を押して、クイックメニューを表示し、「CFスライド一覧」を選択する

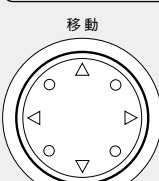
メニュー




3

本体操作部

移動




セット





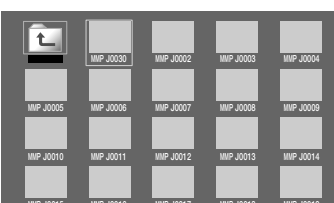
ポインター

リモコン操作部

ポインター/セット



画像データがサムネイル表示されるので、表示したい画像を移動ボタンで選択し、 ボタン(またはリモコンの ボタン)を押す




選択した画像が表示されます。

4

本体操作部


OHP履歴



音量

リモコン操作部

OHP履歴



次の(前の)スライドを表示する

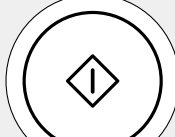
スライドを表示している状態でOHP履歴ボタンを押すと、次の(前の)スライドに切り替わります。

- ▶ ボタン: 現在表示しているスライドの次のスライドを再生します。
- ◀ ボタン: 現在表示しているスライドの前のスライドを再生します。

5

本体操作部


表示更新



静止

リモコン操作部

表示更新



静止

スライド表示を終了する

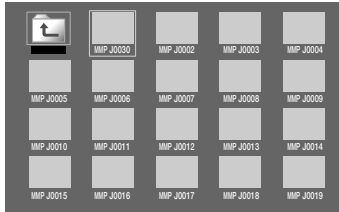
スライド表示を終了するには表示更新ボタンまたはいずれかの入力選択ボタンを押してください。表示更新ボタンを押した場合は更新されたOHPの静止画が表示され、入力選択ボタンを押した場合は各入力画面が表示されます。

お知らせ

- CFカードに保存した画像データを表示しているときは、各入力選択ボタンのLEDはすべて消灯します。
- 手順3でクイックメニューを表示し「スライド表示」を選択して、画像を表示することもできます。詳しくは56ページをご覧ください。
- 手順4でクイックメニューを表示し「次(前)のスライド再生」を選択して、スライドを切り替えることもできます。詳しくは56ページをご覧ください。

CFカードに保存した画像を削除する

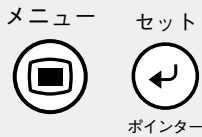
1



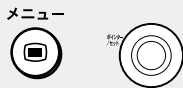
「CFカードに保存した画像データを表示する」の手順 1～3 を行い、画像データをサムネイル表示し、削除したい画像を選択する

2

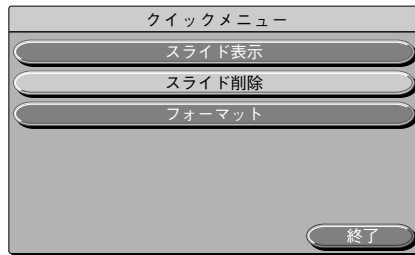
本体操作部



リモコン操作部



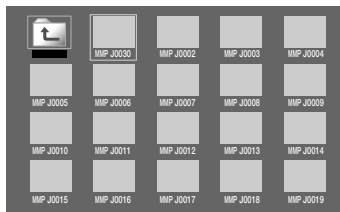
メニュー ボタン(またはリモコンのメニュー ボタン)を押して、クイックメニューの「スライド削除」を選択し、ポインタ ボタン(またはリモコンのメニュー ボタン)を押す



確認画面が表示されるので、「YES」を選択し、ポインタ ボタン(またはリモコンのメニュー ボタン)を押します。

CFカードを初期化する

1



「CFカードに保存した画像データを表示する」の手順1～3を行い、画像データをサムネイルを表示する

特定の画像を選択する必要はありません。




2

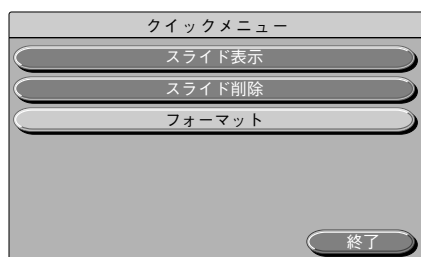
本体操作部





リモコン操作部



メニュー ボタン(またはリモコンの  ボタン)を押して、クイックメニューの「フォーマット」を選択し  ボタン(またはリモコンの  ボタン)を押す



確認画面が表示されるので、「YES」を選択し、 ボタン(またはリモコンの  ボタン)を押します。

お知らせ

- ・フォーマットには、付属の32MバイトのCFカードで約8分かかります。

CFカードに保存した画像を消画時の壁紙として使用する

1

「CFカードに保存した画像を表示する」の手順1～4を行い、消画時の壁紙として表示したい画像をスライド表示する

2

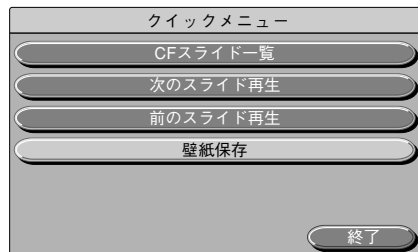
本体操作部



リモコン操作部



メニュー ボタン(またはリモコンのメニュー ボタン)を押して、クイックメニューの「壁紙保存」を選択し(セット ボタン(またはリモコンのメニュー ボタン)を押す



確認画面が表示されるので、「YES」を選択し、(セット ボタン(またはリモコンのメニュー ボタン)を押します。

お知らせ

- ・壁紙は、CFカードに保存されている画像ファイルから何度でも保存できますが、保存するごとに古い壁紙は内部メモリから消去されます。また、電源ボタンを押してスタンバイ状態にしても、保存した壁紙は消去されません。
- ・ズーム表示した画像を壁紙として保存すると、ズーム表示された部分のみ保存します。このため、壁紙として設定した画像の画質が劣化する場合があります。また、圧縮率によって画質が劣化する場合があります。
- ・壁紙として保存したあとに「設定2」メニュー（49ページ）の「消画面面選択」で「壁紙」を設定しないと消画時に壁紙は表示されません。また、画像ファイルから壁紙を設定していない場合、消画時はブルーバック表示になります。

CFカード内のファイル構成とアイコン表示について

初めてMP-700で使用するCFカードを挿入すると、自動的に「DCIM」という名称のディレクトリが作成され、さらにこの下に「100AVMPJ」が作成され、カレントディレクトリ*となります。ディレクトリが複数あるCFカードを挿入した場合は、ディレクトリ名「XXXAVMPJ」の「XXX」の数字が最も大きいディレクトリが、カレントディレクトリとなります。

※スライド一覧やOHP保存の際に基準となるディレクトリを、「カレントディレクトリ」といいます。

<OHP保存時のディレクトリ>





OHP保存を実行すると、OHP画像がカレントディレクトリ内に保存されます。カレントディレクトリを変更するには、スライド一覧画面でディレクトリを移動します。

<スライド一覧時のディレクトリ>

CFスライド一覧を実行すると、カレントディレクトリ内のファイルがファイル名順にサムネイル表示されます。

<スライド一覧時のアイコン>

スライド一覧画面では、CFカード内の画像ファイルをサムネイルアイコン表示します。サムネイル以外のアイコン表示については、下記の表をご覧ください。

アイコン	説明
	選択して実行すると、ひとつ上の階層にカレントディレクトリを移動します。
	選択して実行すると、該当する階層にカレントディレクトリを移動します。
	以下のファイルを表しています。 <ul style="list-style-type: none"> EXIF2.1規格に準拠しているがサムネイル情報が入っていないファイル EXIF2.1規格に準拠したデジタルスチルカメラで撮影した画像ファイル（再生に時間がかかる場合があります） パソコン等で編集した再生可能なファイル（再生に時間がかかる場合があります）
	再生不可能なファイルを表しています。

お知らせ

- ・パソコンで作成・加工したファイルの表示はサポート対象外です。ファイルによっては表示に非常に長い時間がかかる場合があります。
- ・デジタルスチルカメラで撮影した画像の表示はサポート対象外です。メーカー／機種／EXIF規格／解像度／圧縮率等により対応ができない場合があります。

保守

異常保護

本機には、温度異常による火災や故障を未然に防ぐために、保護回路が内蔵されています。

●ランプ/カバーLEDが赤色に点灯しているとき

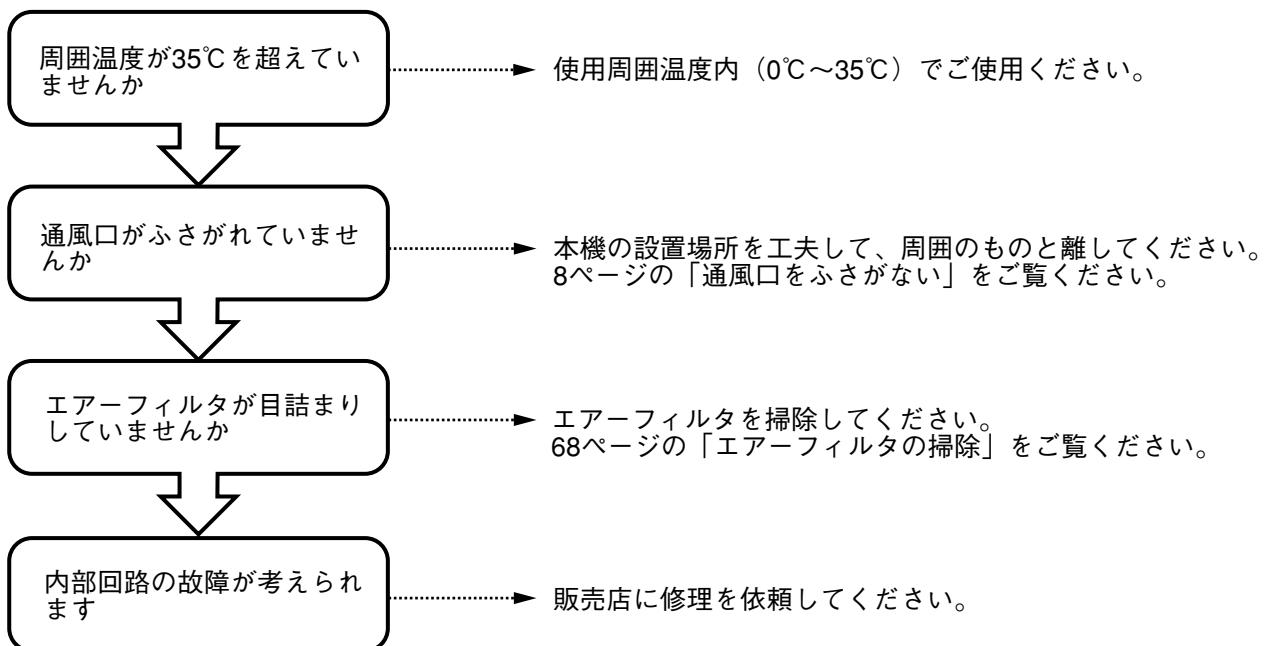
○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. エアークフィルタを正しく取り付けてください。68ページの「エアークフィルタの掃除」をご覧ください。
3. ランプユニットカバーを正しく取り付けてください。66ページの「ランプユニットの交換」をご覧ください。

●温度LEDが点滅・点灯したとき

○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 次のことを調べ、正しく対処してください。



※温度LEDが消えているときが、正しく動いている状態です。

※同時にランプ/カバーLEDが赤色に点灯している場合はランプを交換してください。

交換のしかたは66ページをご覧ください。

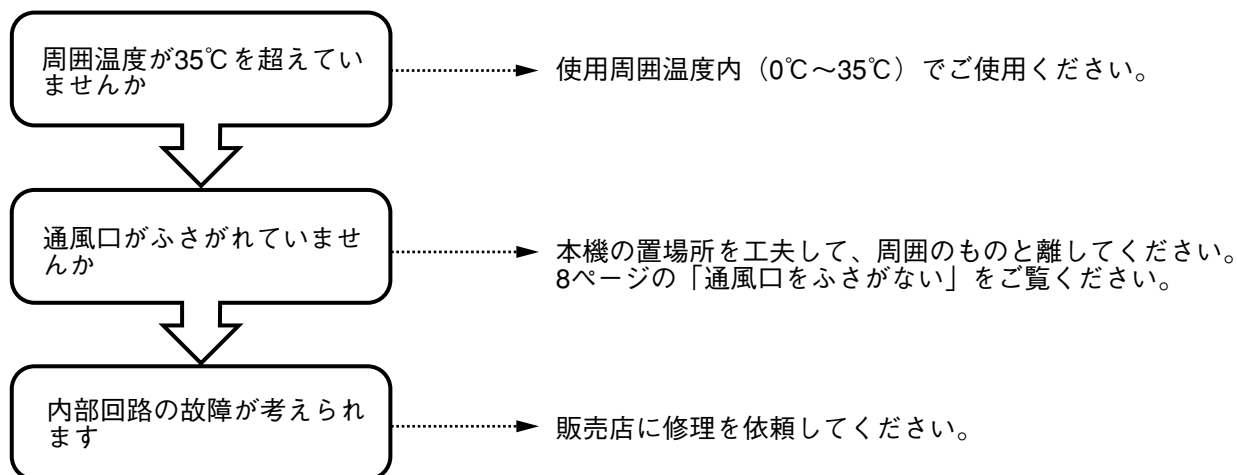
※温度LEDの点滅は温度異常の警告です。点滅がはじまって10秒以内に装置の使用環境が改善されれば警告は解除されます。(温度LEDは消灯し、正常動作します)

点滅がはじまって10秒経過しても使用状況が変わらない場合、温度LEDは点灯にかわり、ランプは消灯します。

●電源が落ちたとき（電源ONで全てのLEDが消灯しているとき）

○処置

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 次のことを調べ、正しく対処してください。



ランプユニットの交換

本機で使用している投写ランプの交換の目安は1400時間です。（使用条件などによっては早まる場合があります。）

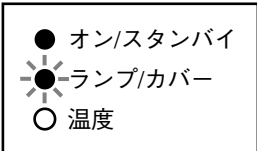
使用累積時間が1500時間を越えると破裂の確率が高くなるため、1500時間で強制的にランプ電源が切れるようにしています。



ランプ累積使用時間が1400時間を越えた次の場合は、ランプユニット（別売品）の交換をしてください。また、映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりしたときもランプの寿命ですので新しいランプユニットに交換してください。

- ランプ点灯時に以下のように表示されたとき。（ランプ使用累積時間が1400時間を越えると表示されます。）

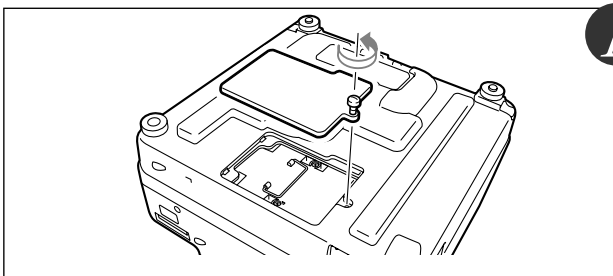
ランプ時間が1400時間を超えています。
ランプを交換してください。

- メニュー表示画面で「ランプ使用時間」が1400時間になったとき。
ランプ/カバーLEDが点滅します。
ランプ使用時間は、「設定1」メニュー内に表示され、確認することができます。（49ページをご覧ください）
- ランプが点灯せずに、ランプ/カバーLEDが点灯しているとき。
（ランプ使用累積時間が1500時間を越えた場合。）

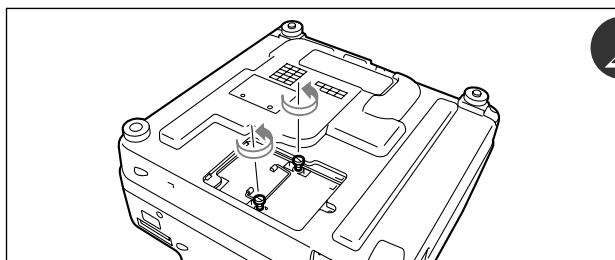


 警告	<ul style="list-style-type: none">・本機を使用した直後はランプユニットを交換しないでください。 ランプが高温になっているため、やけどをする恐れがあります。電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上たってからランプを交換してください。・ランプに手を触れないでください。輝度が低下したり、ランプの寿命が短くなる恐れがあります。・本体内部にはランプやミラーなどのガラス部品を多数使用しています。万一、ガラス部品が割れたときは、破片だけがをしないように取り扱いには十分注意し、販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
 注意	<ul style="list-style-type: none">・MPシリーズ（MP-10、MP-100、MP-150、MP-200、MP-250、MP-300、MP-400、MP-450）のランプユニットとは互換性がありません。専用のランプユニット（型名：MPLK-D4K）をご指定ください。

手順

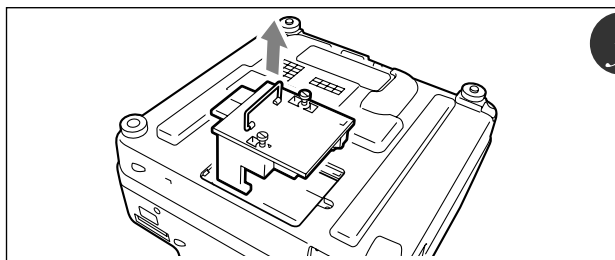


- 1 ランプユニットカバーを外す
マイナスドライバーを使用して、ランプユニットカバーのネジ（1本）をゆるめます。



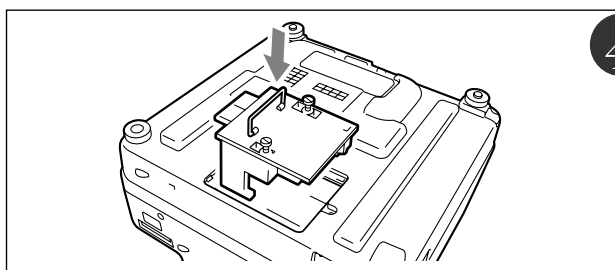
2 ランプユニットの取付ネジをゆるめる

マイナスドライバーを使用して、ランプユニットのネジ（2本）をゆるめます。



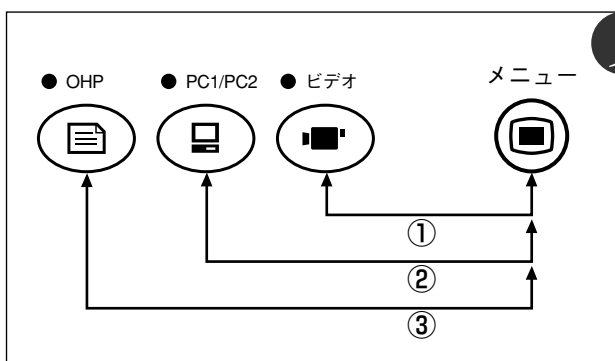
3 ランプユニットを引き抜く

ランプユニットの取手を持って、上に引き抜きます。



4 新しいランプユニットを取り付ける

- ① ランプユニットを持って中に押し込みます。
- ② 位置決め用の突起物（2ヶ所）が穴（2ヶ所）にしっかりはまっていることを確認します。
- ③ ランプユニットの取付ネジ（2本）を締めます。
- ④ ランプユニットカバーを取り付け、取付ネジ（1本）を締めます。



5 ランプ使用時間をリセットする

以下に示す操作はスタンバイ状態で行ってください。

- メニューボタンを押しながら、OHPボタン、PC1/PC2ボタン、ビデオボタンと、順番に押します。
- その後、ランプ/カバーLEDが点滅します。

注意 ランプ交換せずにランプ使用時間をリセットしないでください。1500時間を越えて使用するとランプが破裂する確率が高くなります。



6 ランプ使用時間の表示が左図のように「0H」になっていることを確認する

リセットされていない場合は再度ステップ 5 によりリセットしてください。

注意 リセットせずに使用すると、正しいランプ使用時間がわからなくなりますので、ランプ交換後には必ずリセットしてください。表示が1500時間を越えると、ランプの寿命にかかわらず強制的にランプ電源が切れます。

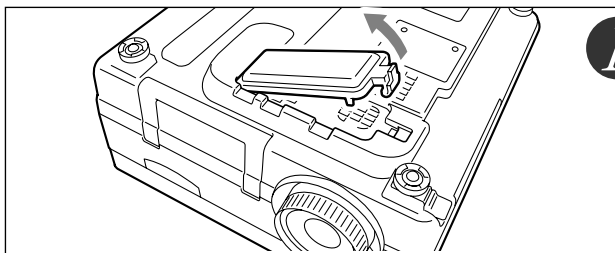
お知らせ

- 安全のため、ランプユニットカバーが装着されていないと、電源が入らないようになっています。
- 別売品のランプユニットは、ランプキットとしてエアフィルタとセットになっていますので、ランプユニット交換の際はエアフィルタも一緒に交換してください。（68ページをご覧ください）
- ランプユニットの廃棄については一般家庭用の蛍光灯と同分類とし各自治体の廃棄方法に従ってください。

エアフィルタの掃除

エアフィルタは、本機の内部の光学部品などへのほこりの侵入を防ぐ大切な部品です。目詰まりを起こすと内部の温度が上昇し、ファンの回転も上昇して寿命低下や故障の原因になりますので、定期的（1日4時間使用した場合、1ヵ月に1回程度）に清掃してください。
尚、ほこりが落ちにくくなった場合は新しいエアフィルタと交換してください。

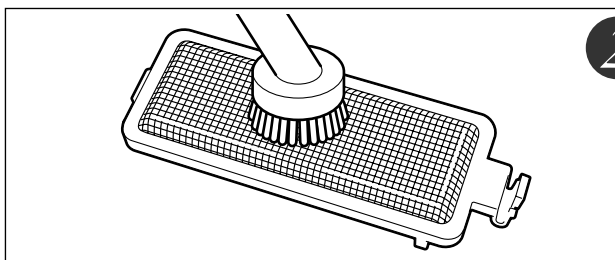
手順



1

エアフィルタを外す

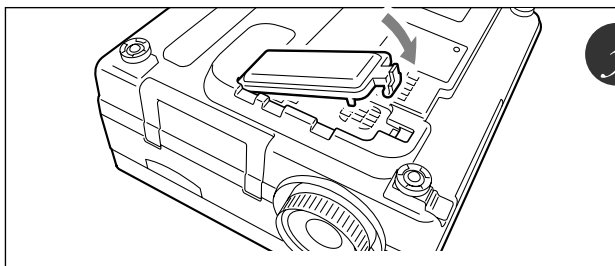
エアフィルタのツメを押しながら、持ち上げるようにしてエアフィルタを外します。



2

ほこりを吸い取る

図のように、エアフィルタの外側（凸側面）から、掃除機でほこりを吸い取ってください。



3

取り付ける

取り付けは取り外しの逆の手順で行います。
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



注意

エアフィルタのお手入れおよびご注意

- ・水やお湯で洗わないでください。目詰まりの原因になります。
- ・布やぬれぞうきんでふかないでください。目詰まりの原因になります。
- ・必ず、外側（凸側面）からほこりを吸い取ってください。内側から吸い取ると、フィルタ効果が損なわれます。
- ・エアフィルタの装着忘れに注意してください。装着せずに本機を放置しておくと、内部にほこりが侵入して映像が汚くなる場合があります。
- ・エアフィルタが破損したときは、必ず新しいエアフィルタ（別売品）に交換してください。破損したまま本機を使用すると、内部にほこりが侵入して映像が汚くなる場合があります。

お知らせ

エアフィルタが装着されていないと、ランプは点灯しません。

故障かな…と思ったら

故障かな？と思ったら修理を依頼される前に次のことをお調べください。

症 状	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが抜けていませんか。 ランプユニットカバーが装着されていますか。 	23 66
投写ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ランプが切れていませんか。 エアフィルタが装着されていますか。 内部温度が高くなっていませんか。保護のためランプは点灯しません。 ランプ使用時間が1500時間を越えていませんか。 	66 68 64 66
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 接続されている入力を選んでいますか。 接続機器のケーブルは正しく接続されていますか。 「映像調整」メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」がマイナス側いっぱいには設定されていませんか。 パソコン側の機能を調べてみましたか。 	34 25、33 48 28
映像が歪む	<ul style="list-style-type: none"> 正しく設置されていますか。 台形補正を行っていませんか。 	23 24
映像がぼける	<ul style="list-style-type: none"> フォーカスを合せてありますか。 投写距離がフォーカスの合う距離範囲に入っていますか。 台形補正を行っていませんか。 レンズキャップはついていませんか。 	35、42 22 24 34
映像がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> 「同期調整」メニューの「PHASE」を調整してください。 	49
映像がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 「同期調整」メニューの設定は合っていますか。 	49
色がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 「同期調整」メニューの「PHASE」を調整してください。 	49
音がでない	<ul style="list-style-type: none"> 音量調整が最小に設定されていませんか。 	44
キャビネットから「ピシッ」という音がする	<ul style="list-style-type: none"> 室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。 	—
温度LEDが点灯する	<ul style="list-style-type: none"> 異常保護の処置に従ってください。 	64
ランプ/カバーLEDが赤色に点灯する	<ul style="list-style-type: none"> エアフィルタが外れていませんか。 ランプユニットカバーが外れていませんか。 ランプ使用累積時間が1500時間を越えていませんか。 	68 66 66
リモコンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 電池がきれていませんか。または消耗していませんか。 リモコン受光部に照明などの光が当たっていませんか。 本機のリモコン受光部がふさがれていませんか。 インバータ機器が近くにありませんか。 	20 14、15 14、15 20
パソコン入力選択時、映像の位置がずれる、または圧縮表示される	<ul style="list-style-type: none"> リサイズボタンを押して自動同期調整を行ってください。 「同期調整」メニューで調整してください。 	43 49



症 状	ここをお調べください	参照ページ
CFカードを認識できない	・ 付属のCFカード、またはその同等品をお使いですか。メーカー、CFカードのタイプにより使用できない場合があります。	57
	・ CFカードが正しく挿入されていますか。	58
	・ CFカードのファイルシステムが壊れていませんか。	58
	・ フォーマットされたCFカードをお使いですか。	61
OHP保存できない	・ CFカードが正しく挿入されていますか。	58
	・ CFカードの空き容量が少なくなっていないですか。メッセージが表示されますので、不要なファイルを削除するか、CFカードを交換してください。	58
	・ パソコンでフォーマットあるいは使用したカードは、書き込みに時間がかかる場合がありますので、MP-700で再度フォーマットすることをおすすめします。	61
	・ DCIM下のディレクトリ番号が最大（999）で、その中のファイル番号が最大（9999）となると、カードに空き容量が確保されていても保存できなくなります。	63
CFカードに保存したOHP画像が無い	・ CFカードのファイルシステムが壊れていませんか。	58
	・ CFカードアクセス中にCFカードを抜きましたか。アクセス中にCFカードを抜くとファイルシステムが壊れやすいので、アクセス中はCFカードを抜かないでください。	58
	・ ファイル番号が最大(9999)を超えていませんか。カレントディレクトリ内のファイル番号が最大(9999)を超えると、最後のディレクトリ番号の次の番号のディレクトリが作成されます。カレントディレクトリを次の番号のディレクトリに移動し、このディレクトリ内にOHP画像を保存します。	63
	・ 保存前にカレントディレクトリを移動していませんか。移動後のディレクトリがカレントディレクトリとなり、OHP画像は移動後のディレクトリに保存されます。	63
CFカード内の画像を削除できない	・ CFカードのファイルシステムが壊れていませんか。	58
	・ ディレクトリは削除できません。	60
CFカードがフォーマットできない	・ 付属のCFカード、またはその同等品をお使いですか。メーカー、CFカードのタイプにより使用できない場合があります。	57
	・ 付属の32MバイトのCFカードで約8分かかります。付属のCFカード以外のカードをフォーマットすると、時間がかかる場合があります。	61
CFカードの読み込みができない	・ 付属のCFカード、またはその同等品をお使いですか。メーカー、CFカードのタイプにより使用できない場合があります。	57
	・ CFカードのファイルシステムが壊れていませんか。	58
	・ フォーマットされたCFカードをお使いですか。	61

保証と修理サービス

保証について

- ・この商品には、(仮)保証書兼お客様登録シートが添付されております。(仮)保証書兼お客様登録シートに所定事項をご記入の上、購入日より10日以内に、ご返送くださるようお願いいたします。シート到着次第、正式な保証書を作成いたします。シート到着後、保証書をお手許にお届けするのに約2週間ほどお時間がかかります。それまでは本シートの所定の場所にシリアルナンバーシールをお貼り頂き(仮)保証書として大切に保管してください。

保証期間

- ・保証期間はご購入いただいた日から1年間です。但し、ランプユニットおよびエアフィルターなどの消耗品は除きます。
- ・保証期間内であっても有料修理になることがありますので取扱説明書の「保証規定」をよくお読みください。
- ・保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は有料にて修理いたします。

修理サービス

- ・修理を依頼される前にもう一度69ページの「故障かな…と思ったら」にしたがってチェックしていただき、なお異常があるときは販売店にご相談ください。
- ・修理を依頼されるとき次のことをお知らせください。

故障の状態（できるだけ詳しく）

ご購入あげ年月日

お名前

ご住所

電話番号

品名・形名（商品背面のラベルに記載してあります）

製造番号

補修用性能部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

故障・修理のお問い合わせは

日本アビオニクス株式会社 電子装置事業部 サービスセンター

TEL 045-304-8233

FAX 045-304-8257

受付時間は、月曜日～金曜日までの8:30 a.m.～12:00 p.m. / 12:45 p.m.～5:15 p.m.
土、日、祝日および年末年始を除きます。

その他製品に関するお問い合わせは

日本アビオニクス株式会社 MPコールセンター

TEL ☎ 0120-175411

受付時間は、月曜日～金曜日までの 8:30 a.m. ～12:00 p.m. / 12:45 p.m. ～5:15 p.m.
土、日、祝日および年末年始を除きます。

保証規定

- ◆ 本製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。保証期間（お買上月日から1年間）内に正常なご使用状態で、万一故障した場合は無償で修理させていただきます。
- ◆ 保証期間中でも次の場合は有償で修理させていただきます。
 1. 保証書に販売店名および保証期間が記載されていない場合
 2. 使用上の誤りおよび当社以外の者による改造、修理に起因する故障、損傷の場合
 3. 輸送、移動時の落下等、お取扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合
 4. 火災、塩害、ガス害、異常電圧および地震、雷、風水害その他の天災地変等による故障、損傷の場合
 5. 当社の定める標準製品以外の機器を接続し、当該機器に起因して本製品に故障を生じた場合
 6. 説明書記載方法および注意に反するお取扱いによって生じた故障の場合
 7. 保証書をご提示されない場合
 8. 保証書の所定事項が未記入の場合および字句を訂正された場合

本製品に生じた故障に関し、当社は保証書に基づく無償修理以外の責任を負いません。

保証書は国内で使用される場合だけ有効です。

This warranty shall be valid in Japan.

仕様

型名		MP-700		
方式		三原色液晶シャッタ投写方式		
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ	1.3型×3枚 アスペクト比4:3	
		駆動方式	マイクロレンズアレイ付ポリシリコンTFTアクティブマトリクス方式	
		画素数	786,432画素(1024×768ドット)×3	
		配列	ストライプ	
投写レンズ		マニュアルズーム1~1.3倍、f=51mm~64.3mm、F1.8~2.1		
光源		300W超高圧水銀ランプ		
画面サイズ		最小32~最大300型(投映距離1.4~13m)		
色再現性		フルカラー(1,677万色)		
明るさ		4300ANSIルーメン		
対応走査周波数(アナログRGB)		水平21~80kHz、垂直50~85Hz		
表示可能解像度	RGB信号入力時	1024ドット×768ドット(1600×1200ドット圧縮表示可能)		
	ビデオ信号入力時	500TV本		
映像入出力	OHP (実物投写部)	読取機器	200万画素カラーCCDカメラ	
		読取サイズ	288mm×216mm(A4相当)	
		読取解像度	750TV本	
		読取レンズ	F:3.3 f:3.1mm固定焦点レンズ	
	パソコン (アナログRGB入力)	信号方式	セパレート信号方式	
		映像信号	アナログ:0.7Vp-p/75Ω	
		同期信号	セパレート/コンポジット:TTLレベル(正/負) シンクオングリーン:0.3Vp-p(負)	
		入出力端子	ミニD-SUB 15ピン(2系統)	
	ビデオ入力	信号方式	NTSC/PAL/SECAM	
		入力端子	RCAピンジャック×1、Sビデオ端子×1(S端子優先)	
モニター出力	映像信号	0.7Vp-p/75Ω		
	同期信号	セパレートTTLレベル、負極性		
	出力端子	ミニD-SUB 15ピン		
音声入出力	パソコン	音声信号	0.4Vrms/47kΩ	
		入力端子	ステレオミニジャック(2系統)	
	ビデオ	音声信号	0.4Vrms/47kΩ	
		入力端子	RCAピンジャック	
	モニター出力	音声信号	0.4Vrms/47kΩ	
		出力端子	ステレオミニジャック	
音声出力		2W×2 ステレオ		
台形補正		水平±10° 垂直±15°		
使用温湿度範囲		温度0~35℃、湿度20~80%(但し、結露なきこと)		
電源		AC100V±10% 50/60Hz		
消費電流		5A		
外形寸法(mm)		390(W)×380(D)×190(H) (突起部含まず、カバー含む)		
質量		約8.5kg		
付属品		電源ケーブル(3m)、リモコン、取扱説明書、(仮)保証書兼お客様登録シート、電池(単3×2)、PC接続ケーブル、コンパクトフラッシュカード(32Mバイト)、コンパクトフラッシュカードアダプタ、レンズキャップ		

- 仕様、意匠は改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には適合していません。
- 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。

This product (including software) is designed for use in Japan only and not for use in any other country.



MEMO



MEMO